

第106回 日本消化器内視鏡学会関東支部例会 プログラム



会 長：慶應義塾大学病院 予防医療センター 教授・センター長 岩 男 泰

会 場：シェーンバッハ・サボー

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-7-5

TEL：03-3261-8386

会 期：2018年（平成30年）6月16日（土）・17日（日）

運 営 事 務 局

慶應義塾大学病院 予防医療センター

〒160-8582 東京都新宿区信濃町35

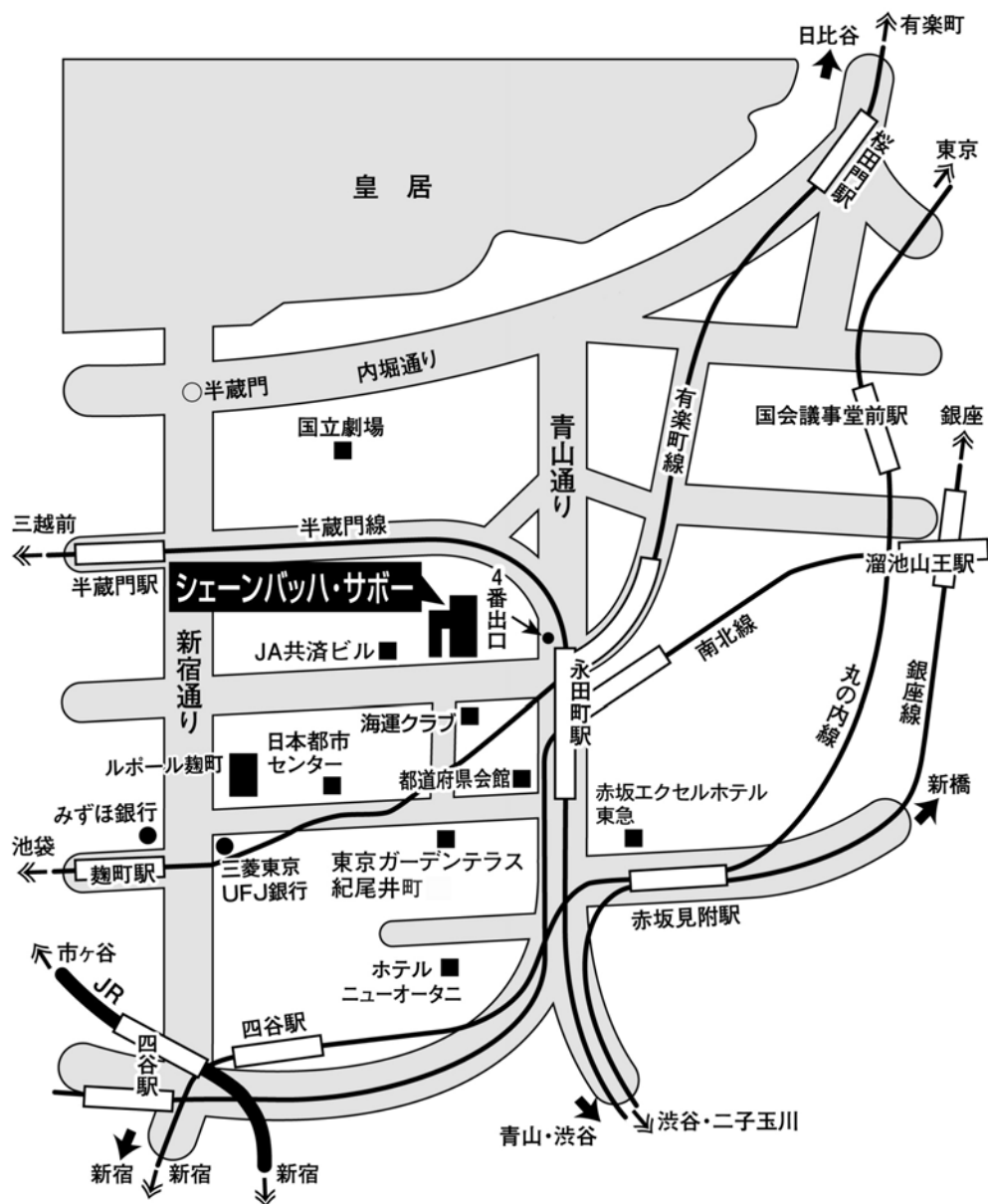
学会ホームページ <http://www.jges-k.umin.jp/>

第106回日本消化器内視鏡学会関東支部例会

プログラム委員 (敬称略、五十音順)

顧 問	上西 紀夫	公立昭和病院
	熊谷 一秀	全日本労働福祉協会
委 員	田尻 久雄	東京慈恵会医科大学 先進内視鏡治療研究講座
	三木 一正	一般財団法人 日本健康増進財団
	有馬美和子	埼玉県立がんセンター
	池松 弘朗	国立がん研究センター東病院 消化管内視鏡科
	伊佐山浩通	順天堂大学医学部附属順天堂医院 消化器内科
	糸井 隆夫	東京医科大学病院 消化器内科
	今枝 博之	埼玉医科大学病院 消化管内科
	入口 陽介	東京都がん検診センター
	浦岡 俊夫	群馬大学医学部附属病院 消化器・肝臓内科
	遠藤 豊	大船中央病院 消化器・IBDセンター
	大塚 和朗	東京医科歯科大学医学部附属病院 光学医療診療部
	大圃 研	NTT東日本関東病院 内視鏡部
	貝瀬 満	日本医科大学 消化器内科学
	河合 隆	東京医科大学 消化器内視鏡学分野
	後藤田卓志	日本大学医学部内科学系 消化器肝臓内科学分野
	小林 清典	北里大学医学部新世紀医療開発センター
	斎藤 彰一	がん研有明病院 下部消化管内科
	斎藤 豊	国立がん研究センター中央病院 内視鏡科
	炭山 和毅	東京慈恵会医科大学 内視鏡科
	藤崎 順子	がん研有明病院 消化器内科
	藤城 光弘	東京大学医学部附属病院 光学医療診療部
	松田 浩二	聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 消化器内科
	松田 尚久	国立がん研究センター中央病院 検診センター／内視鏡科
	溝上 裕士	筑波大学附属病院 光学医療診療部
	安田 一朗	帝京大学医学部附属溝口病院 消化器内科
	矢野 智則	自治医科大学 消化器内科
	矢作 直久	慶應義塾大学医学部 腫瘍センター
	山本 博徳	自治医科大学 内科学講座消化器内科学部門
	横山 薫	北里大学医学部 消化器内科学
	良沢 昭銘	埼玉医科大学国際医療センター 消化器内科

交通案内図



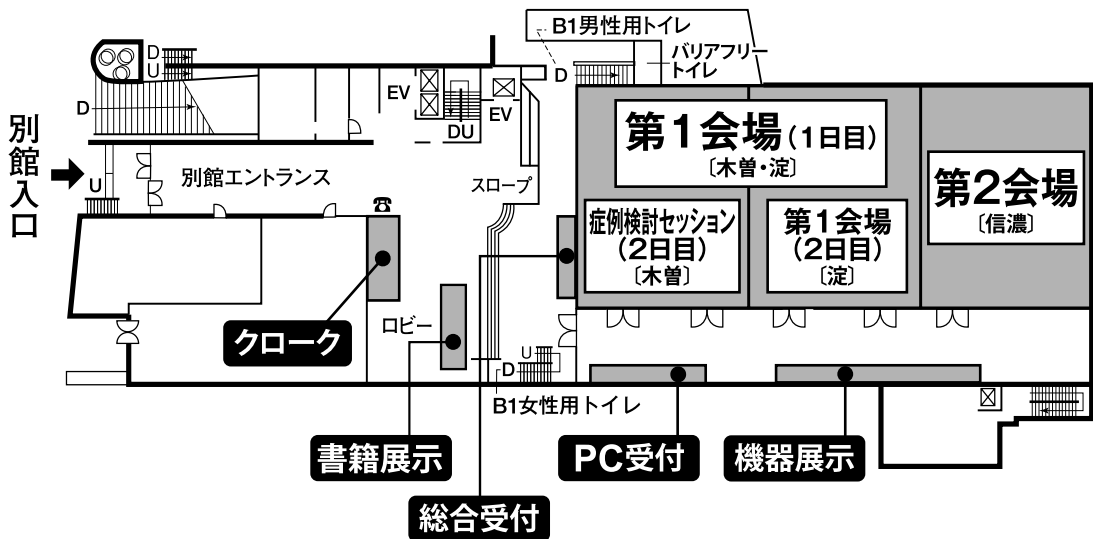
■交通のご案内

- 東京メトロ 麹町駅(有楽町線)半蔵門方面出口より徒歩約4分
- 東京メトロ 永田町駅(有楽町線)〈半蔵門線〉4番・5番出口より徒歩約4分
- 東京メトロ 永田町駅(南北線)9番出口より徒歩約3分
- 東京メトロ 赤坂見附駅(銀座線)〈丸の内線〉より徒歩約8分
- J R 四ッ谷駅 麹町出口より徒歩約14分
- 都 バ ス 都市センター前(新橋駅⇄市ヶ谷駅⇄大久保駅)

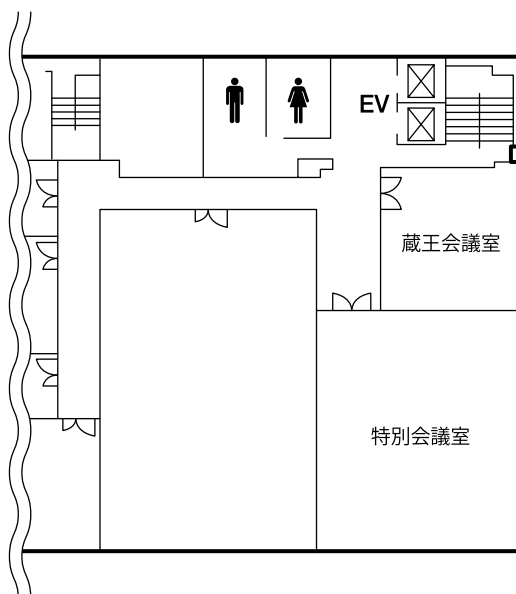
会場案内図

シェーンバッハ・サボー

■ 1階

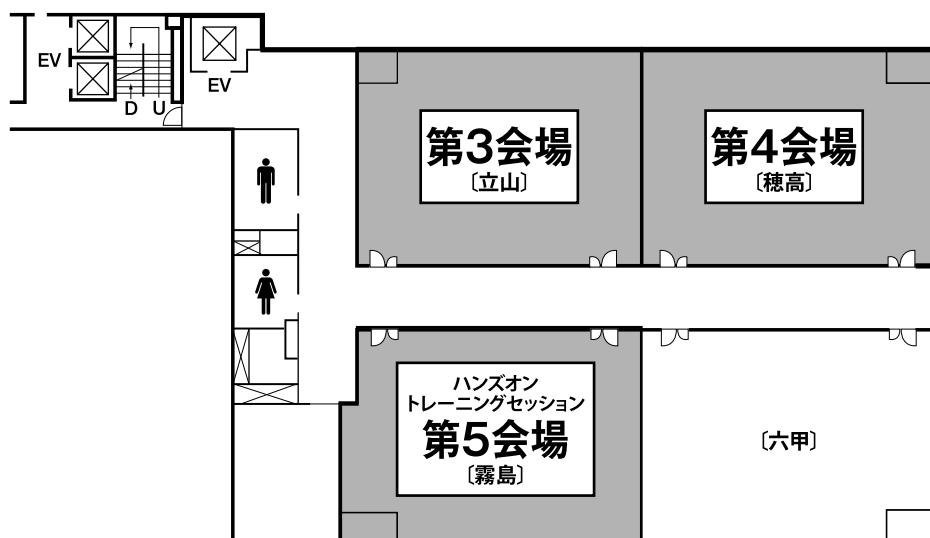


■ 2階



会場案内図

■ 3階



会員と演者へのお知らせ

I 参加登録

1. 参加費として医師・一般の方は5,000円を参加受付でお支払いください。
初期研修医の方は、1,000円を参加受付でお支払いください。
医学部生は無料（当日受付にて学生証の提示を行ってください）
参加費お支払後、ネームカードをお渡ししますので、所属・氏名をご記入の上、会場内では常時ご着用いただくようお願いいたします。
2. クレジットカードは使用できません。
3. 演者（共同演者を含む）は、日本消化器内視鏡学会の会員に限ります。
4. 抄録集をご希望の方は受付にて1,000円で販売いたします。
5. 参加受付は、8：30より以下の場所で行います。
6月16日（土）、17日（日） シェーンバッハ・サボー 1階ロビー

II 出席単位登録について

1. 日本消化器内視鏡学会ホームページより大会の出席単位登録をすることが可能です。
大会No.10桁の後に参加登録証の左上のNo.を入れた16桁の番号をご登録ください。
専門医、指導医の申請・更新時に必要になります。
詳しくは、日本消化器内視鏡学会ホームページをご参照ください。
URL <http://www.jges.net/>
2. 取得できる単位数
出席・5単位 / 筆頭演者・3単位 / 共同演者・2単位
※ 大会No.は大会終了後、日本消化器内視鏡学会ホームページの会員専用コーナーに表示する予定です。
※ オンラインによる出席単位登録をされない方は本カードが資格申請・更新に必要になります。

III 発表に関する注意

発表は、コンピュータープレゼンテーションとなります。
以下の要領に従ってご準備ください。

- 1) 一般演題の発表時間は5分、討論時間は3分です。研修医・専修医セッションの発表

時間は5分、討論時間は2分です。シンポジウム、パネルディスカッション、ビデオワークショップ、ワークショップの発表時間は、演者へ個別に連絡いたします。必ず時間厳守でお願いいたします。

- 2) 発表データは、原則としてUSBフラッシュメモリーで提出をお願いいたします。
バックアップ用としてPC本体をご持参ください。
 - ・データは主催者側で一旦コピーいたしますが、学会終了後、責任を持って消去いたします。
 - ・動画の使用は可能ですが、使用するソフトはWindows Media Playerで再生可能な形式に限ります。
- 3) 発表データは発表の1時間前(早朝の場合は30分前)までに、PC受付で動作確認の上、提出してください。
- 4) 会場で使用するPCは以下の仕様となっております。
 - ① OS：Windows 7
 - ※Macintoshでデータを作成された場合は、PC本体をご持参ください。
 - ② アプリケーション：Microsoft PowerPoint 2013, 2016
 - ※スライド作成時の注意
 - スライド作成時の画面サイズはXGA（1024×768）をご確認の上、作成してください。
 - PowerPoint画面のメニューにて「スライドショー」→「解像度」で設定できます。
 - フォントは文字化けを防ぐため、以下のフォントを推奨いたします。
 - ・日本語：MSゴシック、MSPゴシック、MS明朝、MSP明朝
 - ・英語：Century、Century Gothic
- 5) PC本体でご発表の際、会場での接続コネクタはMini D-sub 15pinタイプです。一部の機種で変換コネクタがないと接続出来ない機種があります。変換コネクタが必要な機種をご使用の場合は、ご自身で必ずご持参ください。また、バッテリー切れに備えて、ACアダプタをご自身で必ずご持参ください。
- 6) 演者は前の演者の口演開始後、速やかに次演者席についてお待ちください。
- 7) 司会・座長の先生は、担当セッションの開始10分前までに、次座長席にお越しください。会の進行上、時間厳守でお願いいたします。
- 8) 発表にあたっては本学会用語集を参照し適切な用語を用いてください。(適切な用語を用いることは発表者の責務です)

Ⅳ 利益相反（COI）状態開示のお願い

日本消化器内視鏡学会では、すべての臨床研究に係る産学連携活動において、個人が深く関与することに関連し生じる利益相反（conflict of interest：COI）状態を組織として適切に管理する必要性から、本学会における『臨床研究の利益相反に関する指針及び細則』を規定しております。関東支部においてもこの指針および細則が適用されます。

つきましては、発表・講演の際には、過去1年間におけるCOI状態を自己申告していただきます。関東支部ホームページ（<http://www.jges-k.umin.jp/coi/index.html>）で、申告事項および基準をご確認の上、所定書式をダウンロードしてお使いください。

・申告すべきCOI状態が「有」の場合

様式1-A

日本消化器内視鏡学会
COI 開示

発表者名(全員記載): ○○ ○○, ○○ ○○, ... (◎発表責任者)

演題発表に関連し、開示すべきCOI 関係にある企業等として

①顧問:	例: なし or あり(●●製薬)
②株保有・利益:	なし
③特許使用料:	なし
④講演料:	なし
⑤原稿料:	なし
⑥受託研究・共同研究費:	あり(●●製薬)
⑦奨学寄付金:	あり(●●製薬)
⑧寄附講座所属:	あり(●●製薬)
⑨研究とは直接無関係なものの提供:	なし

・申告すべきCOI状態が「無」の場合

様式1-B

日本消化器内視鏡学会
COI 開示

発表者名(全員記載): ○○ ○○, ○○ ○○, ... (◎発表責任者)

演題発表に関連し、開示すべきCOI 関係にある 企業などはありません。

「有」の発表者と講演セミナーの講師は申告書もご提出ください。

* 申告書提出先

学会当日、PC受付へご提出ください。

V 機器・書籍展示

シェーンバッハ・サボアの1階にて開催しております。

VI ランチョンセミナー

整理券方式は採用いたしませんので、予めご了承ください。

VII 症例検討セッション

6月17日（日）に症例検討セッション会場（シェーンバッハ・サボア 1階「木曽」）にて、アンサーパッドを使用したセッションを実施いたします。アンサーパッドは会場入口にて配布いたしますが、数に限りがございますことをご了承ください。

VIII 表彰式

6月16日（土）17：05～ 第1会場（シェーンバッハ・サボア 1階「木曽・淀」）において研修医・専修医セッション表彰式を行います。

研修医（初期研修医）および専修医（後期研修医）が筆頭演者の演題のうち、優れた5演題を選出し表彰いたします。受賞者には奨励金として3万円を贈呈いたします。

また、筆頭演者は翌年春の日本消化器内視鏡学会総会へ招待されます。（学会参加費、交通費、宿泊費等は日本消化器内視鏡学会が負担します）

第 1 日 平成 30 年 6 月 16 日 (土)

	第 1 会場 1F【木曾・淀】	第 2 会場 1F【信濃】	第 3 会場 3F【立山】	第 4 会場 3F【穂高】	第 5 会場 3F【霧島】
9:00	開会の辞(8:55～9:00)			9:00～9:21 専修医セッション 胃1 (26～28)	
10:00	9:00～11:30 パネルディスカッション1 「消化管出血のマネジ メントーどう診断し 治療するのか」	9:00～11:30 ビデオワークショップ1 「動画で見るERCP 関連手技の工夫と トラブルシューティング」	9:40～10:08 専修医セッション 大腸1 (1～4)	9:21～9:42 専修医セッション 胃2 (29～31)	
11:00			10:08～10:29 専修医セッション 大腸2 (5～7)	9:42～10:10 専修医セッション 胃3 (32～35)	9:00～12:00 ハンズオン トレーニング セッション 胃 ESDコース
12:00			10:29～10:57 専修医セッション 大腸3 (8～11)	10:10～10:31 専修医セッション 胃4 (36～38)	
13:00	12:00～13:00 ランチョンセミナー1 武田薬品工業株式会社	12:00～13:00 ランチョンセミナー2 ヤンセンファーマ株式会社/ 田辺三菱製薬株式会社	11:10～11:50 教育レクチャー1 ミヤリサン製薬株式会社	10:31～10:52 専修医セッション 十二指腸1 (39～41)	
14:00	13:20～15:50 ビデオワークショップ2 「動画で見るESD ー手技の工夫と トラブルシューティング」	13:20～15:50 ワークショップ 「炎症性大腸疾患診療に おける内視鏡の役割 ー感染症からIBDまで」	13:20～13:55 専修医セッション 食道 (12～16)	10:52～11:13 専修医セッション 十二指腸2・小腸 (42～44)	
15:00			13:55～14:16 専修医セッション 胆道1 (17～19)	13:20～13:48 研修医セッション 胆道・脾 (45～48)	13:00～16:00 ハンズオン トレーニング セッション EUS-FNAコース
16:00	16:00～17:00 特別講演		14:16～14:37 専修医セッション 胆道2 (20～22)	13:48～14:23 研修医セッション 大腸 (49～53)	
17:00	研修医・専修医セッション表彰式		14:37～14:58 専修医セッション 脾 (23～25)	14:23～14:51 研修医セッション 胃・小腸 (54～57)	
18:00	17:20～18:00 評議員会			14:51～15:12 研修医セッション 食道 (58～60)	
19:00	18:30～20:00 サテライトセミナー オリンパスメディカル サイエンス販売株式会社	18:30～20:00 評議員懇親会 (海運クラブ)			
20:00					

第 2 日 平成 30 年 6 月 17 日 (日)

	症例検討セッション会場 1F【本曽】	第 1 会場 1F【淀】	第 2 会場 1F【信濃】	第 3 会場 3F【立山】	第 4 会場 3F【穂高】	第 5 会場 3F【霧島】
9:00	9:00～10:30 症例検討セッション					
10:00	「食道・胃」	9:30～12:00 シンポジウム1	9:30～12:00 パネルディスカッション2	9:20～9:52 一般演題 胆道1 (61～64)	9:20～9:44 一般演題 大腸1 (97～99)	
11:00	10:30～12:00 症例検討セッション 「十二指腸・小腸」	「パルーン内視鏡による 診断・治療の進歩」	「大腸ポリープの マネジメント ー診断・切除・ フォローアップ」	9:52～10:24 一般演題 胆道2 (65～68)	9:44～10:16 一般演題 大腸2 (100～103)	9:00～12:00 ハンズオン トレーニング セッション 大腸 ESDコース
12:00				10:24～10:48 一般演題 脾・肝臓 (69～71)	10:16～10:48 一般演題 大腸3 (104～107)	
	12:10～13:10 ランチョンセミナー5 第一三共株式会社/ アストラゼネカ株式会社	12:10～13:10 ランチョンセミナー6 富士フィルムメディカル株式会社	12:10～13:10 ランチョンセミナー7 EAファーマ株式会社/ 持田製薬株式会社	10:48～11:20 一般演題 食道1 (72～75)	10:48～11:20 一般演題 大腸4 (108～111)	
13:00		支部長報告 13:20～13:50 教育レクチャー2 ミヤリサン製薬株式会社		11:20～11:52 一般演題 食道2 (76～79)	11:20～11:52 一般演題 大腸5 (112～115)	
14:00	13:20～14:50 症例検討セッション 「大腸」			12:10～13:10 ランチョンセミナー8 アッヴィ合同会社	12:10～13:10 ランチョンセミナー9 ゼリア新薬工業株式会社	
15:00	14:50～16:20 症例検討セッション 「胆膵」	13:50～16:20 シンポジウム2 「胃癌内視鏡検診の現況と 課題、そして将来展望」	13:50～16:20 パネルディスカッション3 「日常診療に役立つ 画像強調観察」	14:00～14:32 一般演題 胃1 (80～83)		13:20～16:20 ハンズオン トレーニング セッション 大腸 挿入コース
16:00				14:32～15:04 一般演題 胃2・十二指腸1 (84～87)		
				15:04～15:28 一般演題 十二指腸2・小腸 (88～90)		
17:00				15:28～15:52 一般演題 大腸6 (91～93)		
18:00				15:52～16:16 一般演題 大腸7 (94～96)		
19:00		閉会の辞				

特別講演 6/16 (土) 第 1 会場 16:00~17:00

司会 慶應義塾大学病院 予防医療センター 岩男 泰

日本の臨床試験は生き残れるか ー海外との比較

東海大学医学部内科学系 循環器内科学

後藤 信哉

シンポジウム 1 6/17 (日) 第 1 会場 9:30~12:00

「バルーン内視鏡による診断・治療の進歩」

司会 自治医科大学 内科学講座消化器内科学部門 山本 博徳
東京医科歯科大学医学部附属病院 光学医療診療部 大塚 和朗

S1-01. 機器レンタルでバルーン内視鏡を導入している一般病院における診断・治療の現況

横浜南共済病院 消化器内科 ○飯塚 千乃, 金子 卓, 岡 裕之
岡崎 博

S1-02. 原因不明の消化管出血で発症した小腸潰瘍症に対する、バルーン内視鏡による 病因検索の意義

東京大学医学部 消化器内科 ○青木 智則, 山田 篤生, 小池 和彦

S1-03. 表在性非乳頭部十二指腸腫瘍及び空腸腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術は バルーン内視鏡を用いれば実現可能な治療手技となる

自治医科大学内科学講座 消化器内科部門 ○岩下ちひろ, 三浦 義正, 井野 裕治
角田 真人, 山本 博徳

S1-04. 大腸ESDにおけるバルーンオーバーチューブの有用性

昭和大学藤が丘病院 消化器内科 ○遠藤 利行, 黒木優一郎, 上原なつみ
阿曾沼邦央, 長浜 正亞

S1-05. シングルバルーン内視鏡を用いた術後再建腸管症例の胆道処置

亀田総合病院 消化器内科 ○白鳥 俊康, 中路 聡, 平田 信人

S1-06. ダブルバルーン内視鏡を用いた良性胆管空腸吻合部狭窄に対する金属ステント短期留置の 有用性

東京大学大学院医学系研究科 消化器内科 ○佐藤 達也, 木暮 宏史, 山田 篤生
中井 陽介, 小池 和彦

S1-07. 腸管再建術後の胆管結石症例における内視鏡的乳頭ラージバルーン拡張術の有用性

東京医科大学臨床医学系 消化器内科学分野 ○本定 三季, 殿塚 亮祐, 祖父尼 淳
糸井 隆夫

S1-08. 当院でのクローン病に対するバルーン内視鏡

東京医科歯科大学 光学医療診療部¹⁾ ○竹中 健人¹⁾, 大塚 和朗¹⁾, 鈴木 康平¹⁾
同 消化器内科²⁾ 福田 将義¹⁾, 渡辺 守²⁾

S1-09. クローン病の小腸狭窄に対する内視鏡的バルーン拡張術の有用性と安全性に関する検討

日本医科大学 消化器内科学 ○梅田 隆満, 田中 周, 西本 崇良
三井 啓吾, 岩切 勝彦

S1-10. 試作細径シングルバルーン内視鏡によるクローン病小腸狭窄の治療

大船中央病院 消化器・IBDセンター ○遠藤 豊, 吉田 篤史, 原 真太郎
梅沢翔太郎, 森川 吉英

S1-11. 新型細径シングルバルーン内視鏡の臨床応用

慶應義塾大学医学部 内視鏡センター¹⁾ ○高林 馨¹⁾, 木村佳代子¹⁾, 細江 直樹¹⁾
同 消化器内科²⁾ 緒方 晴彦¹⁾, 金井 隆典²⁾

シンポジウム2 6/17(日) 第1会場 13:50~16:20

「胃癌内視鏡検診の現況と課題、そして将来展望」

司会 東京医科大学 消化器内視鏡学分野 河合 隆
東京都がん検診センター 入口 陽介

S2-01. 前橋市内視鏡胃がん検診の現況と課題、そして将来展望

前橋市医師会¹⁾ ○萩原 廣明¹⁾, 茂木 文孝²⁾, 山下由起子¹⁾
群馬県健康づくり財団²⁾ 下田 隆也¹⁾, 家崎 桂吾¹⁾

S2-02. 川崎市医師会における川崎市胃がん内視鏡検診への取り組みについて

総合川崎臨港病院¹⁾ ○渡邊 嘉行^{1, 2, 3, 4)}, 安田 宏^{2, 4)}
聖マリアンナ医科大学 消化器・肝臓内科²⁾
川崎市医師会³⁾
川崎市胃がん・大腸がん検診連絡調整会議委員⁴⁾

S2-03. 太田市胃がん内視鏡検診の現状と取り組み

太田市医師会 ○江原 浩司, 関口 利和, 中野 正美

S2-04. 胃癌内視鏡検診の導入及び今後の展望

平和台クリニック ○千葉井基泰

S2-05. 横須賀市の胃がんリスク層別化検査、開始後5年間の総括

マールクリニック横須賀¹⁾ ○水野 靖大¹⁾, 松岡 幹雄²⁾
中央内科クリニック²⁾

S2-06. 千葉県内3市共通の対策型内視鏡検診開始前画質テストの現況

公益財団法人ちば県民保健予防財団 総合健診センター 消化器科 ○山口 和也, 中川 由紀, 稲田 麻里

S2-07. 内視鏡検診における観察撮影法と拾いあげ所見の検討

東京都がん検診センター 消化器内科 ○依光 展和, 入口 陽介, 小田 丈二

S2-08. *H.pylori* 除菌後胃癌における細径経鼻内視鏡の有用性に関する検討

東京医科大学 消化器内視鏡学分野¹⁾ ○杉本 暁彦¹⁾, 河合 隆¹⁾, 植松 淳一¹⁾
同 消化器内科学分野²⁾ 福澤 誠克²⁾, 糸井 隆夫²⁾

パネルディスカッション 1 6/16 (土) 第 1 会場 9:00~11:30

「消化管出血のマネジメントーどう診断し治療するのか」

司会 筑波大学附属病院 光学医療診療部 溝上 裕士
埼玉医科大学病院 消化管内科 今枝 博之

PD1-01. 肝癌治療中における門脈腫瘍塞栓合併肝癌症例の食道静脈瘤破裂に対する緊急内視鏡的 静脈瘤結紮術の治療成績の検討

公益財団法人 佐々木研究所附属杏雲堂病院¹⁾ ○河井 敏宏¹⁾, 佐藤 新平¹⁾, 小尾俊太郎²⁾
帝京大学ちば総合医療センター 消化器内科²⁾

PD1-02. 高度の貧血を伴う上部消化管出血患者における予後予測因子の検討

慶應義塾大学医学部 消化器内科¹⁾ ○宮永 亮一¹⁾, 堀部 昌靖¹⁾, 細江 直樹²⁾
同 内視鏡センター²⁾ 小倉 祐紀³⁾, 金井 隆典¹⁾
東京都立多摩総合医療センター 消化器内科³⁾

PD1-03. 予防中に発症した出血性薬剤性消化性潰瘍の検討

東京医科大学茨城医療センター 消化器内科¹⁾ ○岩本 淳一¹⁾, 村上 昌¹⁾, 門馬 匡邦¹⁾
筑波大学附属病院 光学医療診療部²⁾ 松崎 靖司¹⁾, 溝上 裕士²⁾

PD1-04. 非静脈瘤性十二指腸出血に対する内視鏡的止血術（止血鉗子・クリップ）の検討

昭和大学藤が丘病院内科学講座 消化器内科部門 ○東畑美幸子, 五味 邦代, 吉田詠里加
花村祥太郎, 山本 頼正

PD1-05. 側視鏡を用いた十二指腸出血における止血法の工夫

おおたかの森病院 消化器・肝臓内科¹⁾ ○安達 哲史¹⁾, 島田 紀朋¹⁾, 神田 仁¹⁾
同 外科²⁾ 田口 泰三²⁾

PD1-06. 内視鏡的大腸ポリープ切除術における後出血リスクファクターの検討

埼玉医科大学 消化管内科¹⁾ ○都築 義和¹⁾, 宮口 和也²⁾, 山岡 稔²⁾
同 総合診療内科²⁾ 芦谷 啓吾²⁾, 今枝 博之¹⁾

PD1-07. 当院における高齢者の大腸憩室出血の検討

日本医科大学 消化器内科学 ○大森 順, 貝瀬 満, 藤森 俊二
岩切 勝彦

PD1-08. 大腸憩室出血における再出血危険因子の検討

前橋赤十字病院消化器病センター 消化器内科 ○飯塚 賢一, 深井 泰守, 山崎 節夫
關谷 真志, 大塚 修

PD1-09. 大腸憩室出血に対する内視鏡的止血後の再出血と関連する因子の検討

東京都立墨東病院 内科 ○小林 克誠, 古本 洋平, 松岡 愛菜
野坂 崇仁, 忠願寺義通

PD1-10. 大腸憩室出血に対する留置スネアによる結紮止血術後の再出血因子の検討

筑波大学¹⁾ ○坏 大輔¹⁾, 奈良坂俊明²⁾, 小林 克誠³⁾
筑波大学附属病院 光学医療診療部²⁾ 松田 健二⁴⁾, 溝上 裕士²⁾
都立墨東病院 消化器内科³⁾
筑波学園病院 消化器内科⁴⁾

PD1-11. 大腸憩室出血に対するバリウム充填療法の有用性

東海大学 ○市川 仁志, 今井 仁, 佐野 正弥
小嶋清一郎, 白井 孝之

パネルディスカッション2 6/17(日) 第2会場 9:30~12:00

「大腸ポリープのマネジメントー診断・切除・フォローアップ」

司会 国立がん研究センター中央病院 検診センター/内視鏡科 松田 尚久
群馬大学医学部附属病院 消化器・肝臓内科 浦岡 俊夫

PD2-01. 大腸ポリープ手技選択の観点から見たTraineeのJNET分類診断能

千葉県がんセンター 内視鏡科¹⁾ ○南金山理乃¹⁾, 鈴木 拓人¹⁾, 高城 秀幸¹⁾
同 消化器内科²⁾ 北川 善康¹⁾, 山口 武人²⁾

PD2-02. 10mm未満の早期大腸癌に対するNBI併用拡大内視鏡診断の有用性

国立がん研究センター東病院 ○村野 竜朗, 伊藤 鍊磨, 新村 健介
大野 康寛, 池松 弘朗

PD2-03. 当院における10mm以下の大腸癌に対する術前評価、治療選択の妥当性に関する検討

昭和大学江東豊洲病院 消化器センター ○田邊 万葉, 浦上 尚之, 上野 明子
横山 登, 井上 晴洋

PD2-04. 大腸微小病変の質的診断における自家蛍光内視鏡を用いたリアルタイム自動診断の有用性の検討

東京慈恵会医科大学 内視鏡科 ○堀内 英華, 玉井 尚人, 樺 俊介
大谷 友彦, 炭山 和毅

PD2-05. 10mm未満の小型大腸病変におけるcold snare polypectomyの有用性および安全性の検討

国立がん研究センター中央病院 内視鏡科¹⁾ ○張 萌琳¹⁾, 高丸 博之¹⁾, 中谷 行宏¹⁾
同 検診センター²⁾ 斎藤 豊¹⁾, 松田 尚久^{1, 2)}

PD2-06. 10mm未満の大腸ポリープの内視鏡治療法の選択

国立病院機構 東京医療センター¹⁾ ○窪澤 陽子¹⁾, 加藤 元彦²⁾, 阿部圭一朗³⁾
慶應義塾大学 消化器内科²⁾ 西澤 俊宏¹⁾, 浦岡 俊夫⁴⁾
獨協医科大学病院 消化器内科³⁾
群馬大学大学院医学系研究科内科学講座 消化器・肝臓内科学⁴⁾

PD2-07. 大腸ポリープに対するHot snare polypectomyとCold snare polypectomyの切除範囲と切除深度の比較検討

日本大学医学部内科学系 消化器肝臓内科学分野¹⁾ ○鈴木 翔¹⁾, 後藤田卓志¹⁾, 草野 央¹⁾
JA秋田厚生連 由利組合総合病院 消化器内科²⁾ 池原 久朝^{1, 2)}, 森山 光彦¹⁾

PD2-08. 無床診療所における大腸腫瘍の内視鏡治療後の後出血に関連する因子の検討

医) 曙光会 石くは医院 ○石窪 力

PD2-09. 抗血栓薬服用者における内視鏡的大腸ポリープ切除術後出血の検討

がん研有明病院 消化器内科 ○安江 千尋, 斎藤 彰一, 井出 大資
千野 晶子, 五十嵐正広

PD2-10. “セミクリーンコロン” 後のサーベイランス内視鏡についての検討

昭和大学横浜市北部病院 消化器センター ○倉田 知幸, 工藤 進英, 前田 康晴
森 悠一, 若村 邦彦

パネルディスカッション3 6/17(日) 第2会場 13:50~16:20

「日常診療に役立つ画像強調観察」

司会 日本医科大学 消化器内科学 貝瀬 満
東京慈恵会医科大学 内視鏡科 炭山 和毅

PD3-01. 食道癌ESD後サーベイランスにおけるNBI拡大観察とヨード染色の有用性と限界

慶應義塾大学医学部腫瘍センター 低侵襲療法研究開発部門¹⁾ ○前畑 忠輝¹⁾, 鮑本 哲兵¹⁾, 細江 直樹³⁾
慶應義塾大学医学部 一般・消化器外科²⁾ 川久保博文²⁾, 矢作 直久¹⁾
慶應義塾大学病院 内視鏡センター³⁾

PD3-02. 食道アカラシアにおける画像強調観察を活用した扁平上皮表在癌の検出

昭和大学江東豊洲病院 ○西川 洋平, 郷田 憲一, 角 一弥
池田 晴夫, 井上 晴洋

PD3-03. 上部消化管内視鏡におけるLinked Color Imagingの視認性の検討: 定量的解析

順天堂大学附属順天堂東京江東高齢者医療センター 消化器内科¹⁾ ○竹田 努¹⁾, 浅岡 大介¹⁾, 北條麻理子²⁾
順天堂大学医学部附属順天堂医院 消化器内科²⁾ 永原 章仁²⁾

PD3-04. NBI非拡大観察による早期胃癌スクリーニング効率化の実現可能性

日本医科大学 消化器内科学 ○野田 啓人, 貝瀬 満, 岩切 勝彦

PD3-05. H.pylori未感染未分化型早期胃癌のNBI併用拡大内視鏡所見の検討

がん研有明病院 消化器内科 ○乾山 光子, 堀内 裕介, 藤崎 順子

PD3-06. EBV関連早期胃癌のNBI拡大内視鏡像についての検討

国家公務員共済組合連合会虎の門病院 消化器内科¹⁾ ○鈴木 悠悟¹⁾, 井下 尚子²⁾, 菊池 大輔¹⁾
同 病理診断科²⁾ 飯塚 敏郎¹⁾, 布袋屋 修¹⁾

PD3-07. 十二指腸(非乳頭部)病変の診断に対する非拡大画像強調内視鏡の効果

獨協医科大学埼玉医療センター 消化器内科¹⁾ ○藤本 洋¹⁾, 片山 裕視^{1, 2)}, 小堀 郁博¹⁾
同 内視鏡センター²⁾ 北川 智之¹⁾, 玉野 正也¹⁾

PD3-08. 大腸腫瘍性病変に対するJNET分類の有用性について

がん研有明病院 消化器内科内視鏡診療部 ○西川 雄祐, 井出 大資, 千野 晶子
斎藤 彰一, 五十嵐正広

PD3-09. 大腸腫瘍性病変におけるJNET分類による発育形態分類の有効性に対する検討

昭和大学北部病院 消化器内科 ○松本 航, 工藤 進英, 片岡 伸一
中村 大樹, 三澤 将史

PD3-10. JNET分類を用いたCold snare polypectomy適応決定の妥当性に関する検討

東京慈恵会医科大学附属病院 内視鏡科 ○小泉 彰郎, 玉井 尚人, 炭山 和毅

PD3-11. LCIを用いた大腸内視鏡検査の有用性に関する探索的検討

国立がん研究センター中央病院 内視鏡科(消化管)¹⁾ ○田中 優作¹⁾, 坂本 琢¹⁾, 張 萌琳¹⁾
同 検診センター²⁾ 松田 尚久²⁾, 斎藤 豊¹⁾

ビデオワークショップ1 6/16(土) 第2会場 9:00~11:30

「動画で見るERCP関連手技の工夫とトラブルシューティング」

司会 埼玉医科大学国際医療センター 消化器内科 良沢 昭銘
東京医科大学病院 消化器内科 糸井 隆夫

VW1-01. 選択的胆管挿管困難例に対するPrecut

厚生中央病院 消化器病センター 内科¹⁾ ○権 勉成¹⁾, 新後閑弘章²⁾, 前谷 容²⁾
東邦大学医療センター大橋病院 消化器内科²⁾

VW1-02. 当院における内視鏡的乳頭括約筋切開術後出血の検討

日本大学医学部 消化器肝臓内科 ○武井 章矩, 中河原浩史, 後藤田卓志
今津 博雄, 森山 光彦

VW1-03. 総胆管結石除去術におけるERCP関連手技のトラブルシューティング

川崎市立川崎病院 内科¹⁾ ○井上健太郎¹⁾, 花田 亮太¹⁾, 松原 祥平¹⁾
同 内視鏡センター²⁾ 玉井 博修¹⁾, 相浦 浩一²⁾

VW1-04. 当院の膵石症に対する内視鏡治療の実際

北里大学医学部 消化器内科学 ○宮田 英治, 岩井 知久, 木田 光広
小泉和二郎

VW1-05. 当科における膵管ステント迷入に対する手技の工夫とトラブルシューティング

埼玉医科大学総合医療センター 消化器・肝臓内科 ○藤田 徹郎, 松原 三郎, 屋嘉比康治

VW1-06. 胆管ステント内の門脈瘤破裂による胆道出血の一例

太田記念病院 消化器内科 ○伊島 正志, 永島 一憲, 栗原 英心
川上 知孝, 大竹 陽介

VW1-07. 悪性胆道閉塞に対する内視鏡的胆管metal stent留置術後胆嚢炎の対処法

昭和大学医学部内科学講座 消化器内科学部門 ○山宮 知, 北村 勝哉, 石井 優
三井 佑太, 吉田 仁

VW1-08. レーザーカットタイプのカバードメタルステント抜去に関する検討

埼玉医科大学国際医療センター 消化器内科 ○谷坂 優樹, 良沢 昭銘, 水出 雅文
南 一洋, 藤田 曜

VW1-09. Interventional EUS法を用いた当院における胆膵内視鏡処置の工夫

慶應義塾大学医学部 内視鏡センター¹⁾ ○福原誠一郎¹⁾, 岩崎 栄典²⁾, 細江 直樹¹⁾
同 消化器内科²⁾ 緒方 晴彦¹⁾, 金井 隆典²⁾

**VW1-10. Walled-off necrosisに対するInterventional EUS時の出血への予防策と
トラブルシューティング**

東京医科大学 臨床医学系消化器内科学分野 ○小嶋 啓之, 土屋 貴愛, 殿塚 亮祐
向井俊太郎, 糸井 隆夫

ビデオワークショップ2 6/16(土) 第1会場 13:20~15:50

「動画で見るESD一手技の工夫とトラブルシューティング」

司会 日本大学医学部内科学系 消化器肝臓内科学分野 後藤田卓志
国立がん研究センター中央病院 内視鏡科 斎藤 豊

VW2-01. 食道憩室内に広がる食道表在癌に対するESDの工夫

日本大学医学部内科学系 消化器肝臓分野 ○江崎 充, 鈴木 翔, 草野 央
後藤田卓志, 森山 光彦

VW2-02. 三次救急病院における胃ESDの現状と課題

太田記念病院 消化器内科 ○大竹 陽介, 川上 知孝, 永島 一憲
栗原 英心, 伊島 正志

VW2-03. ESDにおける粘膜下層線維化を安全に突破するための工夫:

Dual ナイフ格納状態での剥離

杏林大学医学部 第三内科 ○大野亜希子, 楠原 光謹, 新井 健介
神保 陽子, 久松 理一

VW2-04. 大腸腫瘍に対する安全で確実なハイブリッドESDの確立を目指して

NTT東日本関東病院 消化器内科 ○酒井 英嗣, 大圃 研, 瀧田麻衣子
村元 喬, 松橋 信行

VW2-05. 消化管腫瘍に対するHybrid ESDの有効性と限界

日本大学医学部内科学系 消化器肝臓内科学分野 ○鈴木 翔, 後藤田卓志, 草野 央
池原 久朝, 森山 光彦

VW2-06. 大腸ESDにおけるForced凝固超低出力設定を用いたKnife coagulated cutの実際

深谷赤十字病院 消化器科 ○葛西 豊高, 川辺 晃一, 宮原 庸介
福田 裕昭, 江藤 宏幸

VW2-07. Underwater ESDにおける問題点とその対策

湘南藤沢徳洲会病院 内視鏡内科 ○永田 充

VW2-08. Traineeにおける大腸腫瘍に対するHybrid ESDの治療成績

東京医科大学病院 消化器内科学分野¹⁾ ○山口 隼¹⁾, 福澤 誠克¹⁾, 中村 郁夫²⁾
東京医科大学八王子医療センター 消化器内科²⁾ 河合 隆³⁾, 糸井 隆夫¹⁾
東京医科大学病院 消化器内視鏡学分野³⁾

VW2-09. 大腸ESDの工夫

東京大学医学部附属病院 消化器内科 ○三浦 裕子, 坂口 賀基, 辻 陽介
藤城 光弘, 小池 和彦

VW2-10. 十二指腸NETに対するendoscopic submucosal resection with a ligation device (ESMR-L)法の検討

国立がん研究センター東病院 消化器内視鏡科 ○大野 康寛, 新村 健介, 依田 雄介
池松 弘朗, 矢野 友規

VW2-11. ESD後潰瘍の巾着状縫縮とネオバール埋込による偶発症予防

帝京大学医学部 内科学講座 ○小田島慎也, 三木 淳史, 阿部浩一郎
山本 貴嗣, 喜多 宏人

VW2-12. 大腸ESD後切除後潰瘍に対するインパクトシューターおよび留置スネアを用いた巾着縫合の使用経験と手技の工夫

国立がん研究センター中央病院 内視鏡科 ○日原 大輔, 高丸 博之, 居軒 和也
阿部清一郎, 斎藤 豊

VW2-13. 大腸ESD後における内視鏡的粘膜・粘膜下層閉鎖術の検討

国立病院機構東京医療センター ○西澤 俊宏, 伴野 繁雄, 木下 聡
森 英毅, 浦岡 俊夫

ワークショップ 6/16 (土) 第2会場 13:20~15:50

「炎症性大腸疾患診療における内視鏡の役割ー感染症からIBDまで」

司会 北里大学医学部 新世紀医療開発センター 小林 清典
大船中央病院 消化器・IBDセンター 遠藤 豊

W-01. 急性感染性腸炎に対する当院での大腸内視鏡検査の現状と位置づけ

昭和大学江東豊洲病院 消化器センター ○上野 明子, 田邊 万葉, 浦上 尚之
横山 登, 井上 晴洋

W-02. エロモナス腸炎の発生動向と大腸内視鏡像

東海大学医学部内科学系 消化器内科 ○小池 潤, 鈴木 孝良, 松嶋 成志
白井 孝之, 峯 徹哉

W-03. 広範な小腸猥毛萎縮を呈し、autoimmune enteropathyが疑われた1例

大船中央病院 消化器・IBDセンター ○梅沢翔太郎, 遠藤 豊, 吉田 篤史
上野 文昭

W-04. 免疫不全症に伴う大腸炎の3例

東京医科歯科大学 消化器内科¹⁾ ○齊藤 詠子¹⁾, 長堀 正和¹⁾, 大塚 和朗²⁾
同 光学医療診療部²⁾ 渡辺 守¹⁾

W-05. 当院で経験した回盲部潰瘍を認めた57例の検討

東京慈恵会医科大学 消化器・肝臓内科 ○宮崎 亮佑, 櫻井 俊之, 秋田 義博
宮下 春菜, 猿田 雅之

W-06. MEFV遺伝子解析を実施したIBD unclassifiedの検討ー内視鏡所見を中心に

杏林大学 ○齋藤 大祐, 三浦 みき, 櫻庭 彰人
林田 真理, 久松 理一

W-07. 潰瘍性大腸炎紹介例に対する大腸内視鏡再検査の意義

横浜市立大学医学部 肝胆膵消化器病学 ○鹿野島健二, 加藤 孝征, 大久保秀則
日暮 琢磨, 中島 淳

W-08. 潰瘍性大腸炎患者に対する大腸カプセル内視鏡前処置法におけるヒマシ油併用の有用性

慶應義塾大学医学部 内視鏡センター¹⁾ ○木村佳代子¹⁾, 細江 直樹¹⁾, 宮永 亮一²⁾
同 消化器内科²⁾ 金井 隆典²⁾, 緒方 晴彦¹⁾

W-09. メサラジン不耐症例の内視鏡経験

昭和大学医学部内科学講座 消化器内科学部門(藤が丘病院) ○阿曾沼邦央, 遠藤 利行, 上原なつみ
黒木優一郎, 長濱 正亞

W-10. 活動期潰瘍性大腸炎の治療効果判定に有用な内視鏡スコアについて

北里大学医学部 消化器内科学¹⁾ ○川岸 加奈¹⁾, 横山 薫¹⁾, 小林 清典²⁾
同 新世紀医療開発センター²⁾

**W-11. Narrow-band imaging併用Endocytoscopyを用いた潰瘍性大腸炎における
組織学的活動性評価の検討**

昭和大学横浜市北部病院 消化器センター ○小川 正隆, 工藤 進英, 前田 康晴
小形 典之, 森 悠一

W-12. 潰瘍性大腸炎に対する内視鏡検査代替モニタリング法としての便HGB検査

東京女子医科大学病院 消化器内科 ○大森 鉄平, 中村 真一, 徳重 克年

W-13. 潰瘍性大腸炎関連大腸がんおよびdysplasiaに対する内視鏡的切除術の治療成績

虎の門病院 消化器内科 ○松井 啓, 三谷 年史, 布袋屋 修

W-14. 腸管型ベーチェット病に対する抗TNF α 抗体治療における内視鏡評価の有用性について

聖マリアンナ医科大学 消化器・肝臓内科 ○山下 真幸, 安田 宏, 加藤 正樹
伊東 文生

ランチョンセミナー 1 6/16 (土) 第 1 会場 12:00～13:00

司会 日本消化器内視鏡学会 理事長

東京慈恵会医科大学 先進内視鏡治療研究講座 田尻 久雄

「ポストピロリ時代を迎えて ～PCABを使いこなす～」

順天堂大学医学部 消化器内科 永原 章仁

共催 武田薬品工業株式会社

ランチョンセミナー 2 6/16 (土) 第 2 会場 12:00～13:00

司会 慶應義塾大学医学部 内科学（消化器） 金井 隆典

「実臨床における炎症性腸疾患のモニタリング
～Biologicsの使いどころ～」

東京女子医科大学 消化器内科 大森 鉄平

共催 ヤンセンファーマ株式会社／田辺三菱製薬株式会社

ランチョンセミナー 3 6/16 (土) 第 3 会場 12:00～13:00

司会 国立がん研究センター中央病院 消化管内科 朴 成和

「胃癌化学療法 最新の話題」

慶應義塾大学医学部 腫瘍センター 浜本 康夫

共催 大鵬薬品工業株式会社

ランチョンセミナー 4 6/16 (土) 第 4 会場 12:00～13:00

司会 杏林大学医学部 第三内科学 久松 理一

「潰瘍性大腸炎の治療～基本薬を中心に～」

慶應義塾大学医学部 消化器内科 長沼 誠

共催 持田製薬株式会社

ランチョンセミナー 5 6/17 (日) 症例検討セッション会場 12:10～13:10

司会 東邦大学医療センター大橋病院 消化器内科 前谷 容

「GERD診療と消化器内視鏡」

慶應義塾大学医学部 内科学（消化器） 正岡 建洋

共催 第一三共株式会社／アストラゼネカ株式会社

ランチョンセミナー 6 6/17 (日) 第 1 会場 12:10～13:10

司会 慶應義塾大学医学部 消化器内科 内視鏡センター 細江 直樹

「*H.pylori* 陰性時代における経鼻内視鏡検診の役割」

特定医療法人財団 博愛会 人間ドックセンターウェルネス 吉村 理江

共催 富士フイルムメディカル株式会社

ランチョンセミナー7 6/17 (日) 第2会場 12:10~13:10

司会 慶應義塾大学医学部 医学教育統轄センター 鈴木 秀和

「慢性便秘診療の新しい潮流」

横浜市立大学大学院医学研究科 肝胆脾消化器病学教室 中島 淳

共催 EAファーマ株式会社/持田製薬株式会社

ランチョンセミナー8 6/17 (日) 第3会場 12:10~13:10

司会 慶應義塾大学医学部 内視鏡センター 緒方 晴彦

「高齢者炎症性腸疾患のマネジメント」

防衛医科大学校 消化器内科 穂苅 量太

共催 アッヴィ合同会社

ランチョンセミナー9 6/17 (日) 第4会場 12:10~13:10

司会 東京慈恵会医科大学 内科学講座 消化器・肝臓内科 猿田 雅之

「クローン病診療Update」

東邦大学医療センター佐倉病院 内科学講座 松岡 克善

共催 ゼリア新薬工業株式会社

サテライトセミナー

内視鏡検査に潜むピットフォール ～検診時代に求められる内視鏡技術とは～

6/16 (土) 第 1 会場 18:30～20:00

司会 慶應義塾大学 腫瘍センター 矢作 直久
北里大学医学部 新世紀医療開発センター 田邊 聡

レクチャー

レクチャー1

『私の内視鏡検査のポイントとコツ、教えます! ～咽頭・食道～』

虎の門病院 消化器内科 菊池 大輔

レクチャー2

『私の内視鏡検査のポイントとコツ、教えます! ～胃～』

埼玉医科大学国際医療センター 消化器内視鏡科 野中 康一

特別講演

『開業医における経鼻内視鏡検査の実際
～患者と二次読影医に満足させる内視鏡技術のツボ～』

石田医院 石田 一彦

共催 オリンパスメディカルサイエンス販売株式会社

教育レクチャー 1 6／16（土） 第 3 会場 11：10～11：50

司会 北里大学医学部 新世紀医療開発センター 小林 清典

「大腸炎症性疾患の内視鏡診断」

大阪鉄道病院 消化器内科 清水 誠治

共催 ミヤリサン製薬株式会社

教育レクチャー 2 6／17（日） 第 1 会場 13：20～13：50

司会 埼玉県立がんセンター 内視鏡科 有馬美和子

「内視鏡検診時代に必要な咽頭・食道観察のコツと ピットフォール」

川崎市立井田病院 内視鏡センター 大森 泰

共催 ミヤリサン製薬株式会社

症例検討セッション 6/17 (日) 症例検討セッション会場 9:00~10:30

「食道・胃」

司会 埼玉県立がんセンター 有馬美和子
がん研有明病院 消化器内科 藤崎 順子

食道

症例提示者 埼玉県立がんセンター 消化器内科 都宮 美華
読影者 慶應義塾大学医学部 一般・消化器外科 中村理恵子
国立がん研究センター中央病院 内視鏡科 阿部清一郎
臨床コメンテーター 東京医科歯科大学 消化管外科 川田 研郎

胃

症例提示者 がん研有明病院 内視鏡診療部 並河 健
読影者 東邦大学医療センター大森病院 消化器内科 山口 和久
横浜栄共済病院 消化器内科 清水 智樹
臨床コメンテーター 順天堂大学 消化器内科 松本 健史
病理コメンテーター 横浜市立大学医学部 病態病理学 立石 陽子

症例検討セッション 6/17 (日) 症例検討セッション会場 10:30~12:00

「十二指腸・小腸」

司会 自治医科大学 消化器内科 矢野 智則
東京大学医学部附属病院 光学医療診療部 藤城 光弘

症例提示者 慶應義塾大学医学部 内視鏡センター 細江 直樹
東京女子医科大学 消化器内科 大森 鉄平
読影者 東京大学医学部附属病院 消化器内科 山田 篤生
自治医科大学 消化器内科 小林 泰俊
病理コメンテーター 東京大学医学部附属病院 病理部 牛久 哲男
ミニレクチャー 昭和大学藤が丘病院 消化器内科 山本 頼正

症例検討セッション 6/17 (日) 症例検討セッション会場 13:20~14:50

「大腸」

司会 北里大学医学部 消化器内科学 横山 薫
がん研有明病院 下部消化管内科 斎藤 彰一

炎症

症例提示者 埼玉医科大学総合医療センター 消化器・肝臓内科 可児 和仁
コメンテーター 杏林大学医学部 第三内科 桜庭 彰人
東邦大学医療センター佐倉病院 消化器内科 山田 哲弘
ミニレクチャー 東京医科歯科大学 消化器内科 藤井 俊光

腫瘍

症例提示者 がん研有明病院 消化器内科 安江 千尋
症例コメンテーター 群馬大学医学部附属病院 消化器・肝臓内科 浦岡 俊夫
病理コメンテーター がん研究会有明病院 病理部 河内 洋

症例検討セッション 6/17 (日) 症例検討セッション会場 14:50~16:20

「胆膵」

司会 帝京大学医学部附属溝口病院 消化器内科 安田 一朗
順天堂大学医学部附属順天堂医院 消化器内科 伊佐山浩通

プレゼンテーター 順天堂大学 消化器内科 石井 重登
東京大学医学部附属病院 消化器内科 石垣 和祥
帝京大学医学部附属溝口病院 消化器内科 馬淵 正敏
病理コメンテーター 順天堂大学 人体病理病態学講座 福村 由紀
ディスカッサー 東邦大学医療センター大森病院 消化器内科 岡野 直樹
慶應義塾大学医学部 消化器内科 岩崎 栄典
北里大学病院 消化器内科 岩井 知久

ハンズオントレーニングセッション

協力：オリンパスメディカルサイエンス販売株式会社

「胃 ESDコース」 6/16 (土) 第5会場 9:00~12:00

インストラクター

総合司会 慶應義塾大学医学部 腫瘍センター 矢作 直久

慶應義塾大学医学部 内視鏡センター 高林 馨
 国立国際医療研究センター病院 消化器内科 横井 千寿
 東京医科歯科大学医学部附属病院 光学医療診療部 福田 将義
 聖マリアンナ医科大学 消化器・肝臓内科 佐藤 義典

「EUS-FNAコース」 6/16 (土) 第5会場 13:00~16:00

インストラクター

総合司会 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 消化器内科 松田 浩二

東京大学 消化器内科 中井 陽介
 聖マリアンナ医科大学 消化器・肝臓内科 中原 一有
 東京慈恵会医科大学葛飾医療センター 内視鏡部 加藤 正之
 東京医科大学 消化器内科 土屋 貴愛
 横浜市立大学附属市民総合医療センター 消化器病センター 杉森 一哉
 国立病院機構 横浜医療センター 宮澤 志朗
 帝京大学医学部附属溝口病院 消化器内科 土井 晋平
 埼玉医科大学国際医療センター 消化器内科 谷坂 優樹

「大腸 ESDコース」 6/17 (日) 第5会場 9:00~12:00

インストラクター

総合司会 NTT東日本関東病院 内視鏡部 大圃 研

NTT東日本関東病院 消化器内科 酒井 英嗣
 杏林大学医学部 第三内科 大野亜希子
 大森赤十字病院 消化器内科 千葉 秀幸
 東京大学医学部附属病院 消化器内科 辻 陽介

「大腸 挿入コース」 6/17 (日) 第5会場 13:20~16:20

インストラクター

総合司会 国立がん研究センター東病院 消化管内視鏡科 池松 弘朗

NTT東日本関東病院 消化器内科 村元 喬
 昭和大学 消化器内科 紺田 健一
 国立がん研究センター東病院 消化管内視鏡科 新村 健介
 JCHO東京新宿メディカルセンター 消化器内科 木原 俊裕

演題番号 区 分 時 間 座 長 名

座 長 一 覧

～専修医セッション～

6/16 (土) 第3会場

1～ 4	大腸1	9：40～10：08	角田 裕也
5～ 7	大腸2	10：08～10：29	落合 大樹
8～11	大腸3	10：29～10：57	齋藤 格
12～16	食道	13：20～13：55	乾山 光子
17～19	胆道1	13：55～14：16	月永真太郎
20～22	胆道2	14：16～14：37	森田 亮
23～25	膵	14：37～14：58	田中 麗奈

～専修医セッション～

6/16 (土) 第4会場

26～28	胃1	9：00～ 9：21	松本美野里
29～31	胃2	9：21～ 9：42	戸島 洋貴
32～35	胃3	9：42～10：10	真下 由美
36～38	胃4	10：10～10：31	中山 敦史
39～41	十二指腸1	10：31～10：52	杉本 暁彦
42～44	十二指腸2・小腸	10：52～11：13	井出 大資

～研修医セッション～

6/16 (土) 第4会場

45～48	胆道・膵	13：20～13：48	斉藤 紘昭
49～53	大腸	13：48～14：23	福田 将義
54～57	胃・小腸	14：23～14：51	日下部涼子
58～60	食道	14：51～15：12	大野亜希子

演題番号 区 分 時 間 座 長 名

～一般演題～

6/17 (日) 第3会場

61～ 64	胆道1	9：20～ 9：52	金子 恵子
65～ 68	胆道2	9：52～10：24	馬淵 正敏
69～ 71	膵・肝臓	10：24～10：48	山崎 勇一
72～ 75	食道1	10：48～11：20	吉井 貴子
76～ 79	食道2	11：20～11：52	村元 喬
80～ 83	胃1	14：00～14：32	山里 哲郎
84～ 87	胃2・十二指腸1	14：32～15：04	岩下ちひろ
88～ 90	十二指腸2・小腸	15：04～15：28	小林 泰俊
91～ 93	大腸6	15：28～15：52	鈴木 翔
94～ 96	大腸7	15：52～16：16	長尾さやか

6/17 (日) 第4会場

97～ 99	大腸1	9：20～ 9：44	中村 佳子
100～103	大腸2	9：44～10：16	森川 吉英
104～107	大腸3	10：16～10：48	新村 健介
108～111	大腸4	10：48～11：20	川岸 加奈
112～115	大腸5	11：20～11：52	都築 義和

評 価 者

虎の門病院 健康管理センター	荒木 昭博
順天堂大学医学部附属順天堂医院 消化器内科	坂本 直人

専修医セッション 6/16 (土) 第3会場

9:40~10:08 大腸1 座長 横浜市立市民病院 消化器内科 角田 裕也

1. 2017年当院において内視鏡治療を施行されたポリープの検討

東京女子医科大学病院 消化器内科¹⁾ ○安廣 和志¹⁾, 大森 鉄平¹⁾, 米沢麻利亜¹⁾
 同 消化器外科²⁾ 伊藤亜由美¹⁾, 神林 玄隆¹⁾, 村杉 瞬¹⁾
 井上 雄二²⁾, 前田 文²⁾

2. 腸管回転異常症による大腸内視鏡挿入困難を伴う大腸ポリープに対してダブルバルーン内視鏡を用いて内視鏡治療をし得た一例

新東京病院 消化器内科¹⁾ ○中原良太郎¹⁾, 原田 英明¹⁾, 氏原 哲郎¹⁾
 同 内視鏡外科²⁾ 村上 大輔¹⁾, 佐上 亮太¹⁾, 末廣 聡士¹⁾
 勝山 泰志¹⁾, 早坂 健司¹⁾, 山田 英夫²⁾
 天野 祐二¹⁾

3. 直腸大型ポリープをESDで切除しえたCronkhite-Canada症候群の一例

埼玉医科大学病院 総合診療内科 消化管内科¹⁾ ○宮口 和也¹⁾, 塩味 里恵¹⁾, 山岡 稔¹⁾
 同 病理診断科²⁾ 芦谷 啓吾¹⁾, 大庫 秀樹¹⁾, 小林 威仁¹⁾
 防衛医科大学病院 消化器内科³⁾ 飯田慎一郎¹⁾, 廣岡 伸隆¹⁾, 都築 義和¹⁾
 石澤 圭介²⁾, 渡辺知佳子³⁾, 高木 俊介³⁾
 中元 秀友¹⁾, 穂苅 量太³⁾, 今枝 博之¹⁾

4. 骨盤内膿瘍に対して超音波内視鏡下経直腸的ドレナージが奏功した2例

東京都立多摩総合医療センター 消化器内科 ○山形 亘, 井上 大, 関口 修平
 村田 彩, 藤原 俊, 山田 大貴
 栗原 正道, 前田 元, 伊東 詩織
 肱岡 悠子, 下地 耕平, 中園 綾乃
 藤木 純子, 堀家 英之, 吉岡 篤史
 小倉 祐紀, 並木 伸

10:08~10:29 大腸2

座長 北里大学北里研究所病院 外科 落合 大樹

5. 術前内視鏡での深達度予測が困難であった20mm以下の進行大腸癌の1例

さいたま赤十字病院 消化管内科 ○吉井 健大, 高橋 正憲, 笹島 圭太
土井 浩達, 大津威一郎, 佐藤 平
舟田 圭, 鎮西 亮

6. 急速な形態変化を認めた進行大腸癌の一例

昭和大学医学部 内科学講座消化器内科学部門¹⁾ ○中谷 真也¹⁾, 小西 一男¹⁾, 片桐 敦¹⁾
同 消化器・一般外科学教室²⁾ 久保田祐太郎¹⁾, 東條 正幸¹⁾, 紺田 健一¹⁾
同 病理学講座 臨床病理診断学部門³⁾ 田川 徹平¹⁾, 柳澤 文人¹⁾, 飯島堅太郎¹⁾
牛腸 俊彦¹⁾, 菊池 一生¹⁾, 村上 雅彦²⁾
草野 智一²⁾, 瀧本 雅文³⁾, 矢持 淑子³⁾
山村 冬彦¹⁾, 吉田 仁¹⁾

7. 多発リンパ節転移および脾転移を伴う1cm以下の直腸神経内分泌腫瘍の一例

日本大学医学部内科学系 消化器肝臓内科学分野 ○岩男 彩, 春田 明子, 金子 桂士
矢ヶ部響子, 永井晋太郎, 岩本 真帆
菊池 浩史, 今津 博雄, 森山 光彦

10:29~10:57 大腸3

座長 東京大学医学部附属病院 光学医療診療部 齋藤 格

8. 腸管出血性大腸菌O-157感染による成人腸重積症の一例

藤沢市民病院 ○土屋 洋省, 千々松知子, 廣瀬 俊晴
長島 周平, 露木 翔, 宮崎茉莉子
河野 邦幸, 稲垣 尚子, 田村 寿英
岩瀬 滋

9. 肺癌に対しニボルマブ投与中に大腸炎を認めた一例

東京医科大学茨城医療センター 消化器内科¹⁾ ○玉虫 惇¹⁾, 小西 直樹¹⁾, 辻 剛¹⁾
同 呼吸器外科²⁾ 上田 元¹⁾, 門馬 匡邦¹⁾, 村上 昌¹⁾
屋良昭一郎¹⁾, 平山 剛¹⁾, 岩本 淳一¹⁾
池上 正¹⁾, 本多 彰¹⁾, 松崎 靖司¹⁾
古川 欣也²⁾

10. Pembrolizumabの副作用による大腸炎に対しメサラジンを使用し改善し得た一例

災害医療センター 消化器科 ○上條 孟, 大野 志乃, 木谷 幸博
島田 祐輔, 石坂 俊二, 佐々木善浩
上市 英雄

11. 限局性大腸アミロイドーシスの1例

北里大学医学部 消化器内科学¹⁾ ○松下 昌裕¹⁾, 迎 美幸¹⁾, 小林 清典²⁾
同 新世紀医療開発センター²⁾ 松本 育宏¹⁾, 川岸 加奈¹⁾, 横山 薫¹⁾
同 病理部³⁾ 佐田 美和¹⁾, 小泉和三郎¹⁾, 秋谷 昌史³⁾
三枝 信³⁾

評 価 者

虎の門病院 消化器内科

飯塚 敏郎

日本大学医学部 消化器・肝臓内科

今津 博雄

13：20～13：55

食道

座長 がん研有明病院 消化器内科

乾山 光子

12. 上部消化管内視鏡検査を契機に診断にいたったシカゴ分類で分類不能の食道運動障害の 1 例

群馬大学医学部附属病院 消化器・肝臓内科¹⁾ ○佐藤 圭吾¹⁾, 下山 康之¹⁾, 保坂 浩子¹⁾

同 光学医療診療部²⁾ 栗林 志行¹⁾, 河村 修^{1, 2)}, 星 恒輝¹⁾

小林 剛¹⁾, 入江 江美¹⁾, 山田 俊哉¹⁾

中山 哲雄¹⁾, 田中 寛人¹⁾, 戸島 洋貴¹⁾

富澤 琢^{1, 2)}, 堀口 昇男¹⁾, 山崎 勇一¹⁾

佐藤 賢¹⁾, 柿崎 暁¹⁾, 草野 元康²⁾

浦岡 俊夫¹⁾

13. 糖尿病性ケトアシドーシスに急性壊死性食道炎を合併した一例

防衛医科大学校病院 内科学2講座¹⁾ ○西村 弘之¹⁾, 伊東 傑¹⁾, 村原 なみ¹⁾

同 光学医療診療部²⁾ 露木 和彬¹⁾, 中山 花奈¹⁾, 富岡 明¹⁾

高橋 駿¹⁾, 杉原 奈央¹⁾, 和田 晃典¹⁾

堀内 和樹¹⁾, 塙 芳典¹⁾, 古橋 廣崇¹⁾

東山 正明¹⁾, 渡辺知佳子¹⁾, 高本 俊介²⁾

穂苅 量太¹⁾, 永尾 重昭²⁾

14. 魚骨誤嚥により食道穿孔・深頸部膿瘍を来し、喉頭展開下に内視鏡で異物除去を施行した一例

東京都済生会中央病院 消化器内科¹⁾ ○小川 歩¹⁾, 中澤 敦¹⁾, 林 智康¹⁾

同 耳鼻咽喉科²⁾ 田沼 浩太¹⁾, 大原まみか¹⁾, 阿部 善彦¹⁾

星野 舞¹⁾, 上田 真裕¹⁾, 三枝慶一郎¹⁾

岸野 竜平¹⁾, 酒井 元¹⁾, 船越 信介¹⁾

塚田 信廣¹⁾, 渡部 佳弘²⁾

15. 左頸部リンパ節腫大を契機に発見された食道神経内分泌癌の一例

帝京大学医学部 内科¹⁾ ○柳澤 大輔¹⁾, 阿部浩一郎¹⁾, 大隅 瞬¹⁾

帝京大学 病院病理部²⁾ 大和 洸¹⁾, 松本 康佑¹⁾, 櫻井美代子¹⁾

中村 直裕¹⁾, 丸山 喬平¹⁾, 三木 淳史¹⁾

青柳 仁¹⁾, 磯野 朱里¹⁾, 三浦 亮¹⁾

有住 俊彦¹⁾, 小田島慎也¹⁾, 高森 頼雪¹⁾

山本 貴嗣¹⁾, 喜多 宏人¹⁾, 田中 篤¹⁾

滝川 一¹⁾, 沼倉 里枝²⁾, 宇於崎 宏²⁾

16. White Globe Appearanceを認めLSBE内に発生したBarrett's食道腺癌の1例

北里大学医学部 消化器内科¹⁾ ○原田 洋平¹⁾, 田邊 聡²⁾, 中谷 征吾¹⁾
同 新世紀医療開発センター²⁾ 和田 拓也¹⁾, 渡辺 晃織¹⁾, 石戸 謙次¹⁾
同 病院病理部³⁾ 東 瑞智¹⁾, 堅田 親利¹⁾, 吉田 功³⁾
小泉和二郎¹⁾

13 : 55~14 : 16 胆道1

座長 東京慈恵会医科大学 内視鏡部

月永真太郎

17. 当院における新規経口胆道鏡の使用経験

東京西徳洲会病院 外科¹⁾ ○佐々木佑樹¹⁾, 山本 龍一²⁾, 中川 将視¹⁾
同 消化器内科²⁾ 数納 祐馬¹⁾, 飯島 広和¹⁾, 川山 幹雄²⁾
武蔵野徳洲会病院 肝臓内科³⁾ 羽田 兼吾²⁾, 須田 浩晃²⁾, 楠本 秀樹²⁾
高木 睦郎¹⁾, 山田 真和³⁾, 渡部 和巨¹⁾

18. 若年女性で胆嚢隆起性病変を契機に膵胆管合流異常と診断し腹腔鏡下胆嚢摘出術にてhyperplastic polypを認めた1例

北里大学医学部 消化器内科学 ○石橋 侑, 金子 亨, 宮田 英治
長谷川力也, 山内 浩史, 奥脇 興介
岩井 知久, 今泉 弘, 木田 光広
小泉和二郎

19. 閉塞性黄疸を契機に発見された腺腫主体の胆管ポリープ周囲に表層進展していた早期胆管癌の1例

川崎市立川崎病院 内科¹⁾ ○野間絵梨子¹⁾, 井上健太郎¹⁾, 花田 亮太¹⁾
同 外科²⁾ 松原 祥平¹⁾, 有泉 健¹⁾, 高木 英恵¹⁾
同 検査科³⁾ 玉井 博修¹⁾, 三原 規奨²⁾, 杉浦 仁³⁾
相浦 浩一²⁾

14 : 16~14 : 37 胆道2

座長 聖マリアンナ医科大学病院 消化器・肝臓内科

森田 亮

20. 完全内蔵逆位の閉塞性黄疸に対して仰臥位でERCPを行った1例

昭和大学医学部内科学講座 消化器内科部門 藤が丘病院 ○小林 孝弘, 山村 詠一, 新谷 文崇
浅見 哲史, 岩橋 健太, 小洪 尚子
田淵 晃大, 東畑美幸子, 林 将史
遠藤 利行, 上原なつみ, 花村祥太郎
阿曾沼邦央, 五味 邦代, 黒木優一郎
山本 頼正, 井上 和明, 長濱 正亞

21. 完全内臓逆位に合併した総胆管結石症に対しEPLBD施行し切石した1例

埼玉石心会病院 消化器内科 ○関根 章裕, 阿部 敏幸, 高柳 駿也
水野 寿一, 坂本 竜二, 清水 喜徳

22. 先天性完全内臓逆位に伴った胆管癌の一例

東邦大学医療センター大森病院 消化器内科¹⁾ ○山田 悠人¹⁾, 木村 祐介¹⁾, 渡辺 浩二¹⁾
名古屋大学大学院医学系研究科 腫瘍外科学²⁾ 吉本 憲介¹⁾, 岩崎 将¹⁾, 原 精一¹⁾
宅間 健介¹⁾, 岸本 有為¹⁾, 伊藤 謙¹⁾
岡野 直樹¹⁾, 五十嵐良典¹⁾, 江畑 智希²⁾
棚野 正人²⁾

14 : 37~14 : 58 脾

座長 東京医科大学病院 消化器内科 田中 麗奈

23. 把持鉗子を用いて脾石を完全除去しえたアルコール性慢性脾炎の一例

東邦大学医療センター大森病院 消化器センター内科 ○渡辺 浩二, 岸本 有為, 山田 悠人
木村 祐介, 吉本 憲介, 岩崎 将
伊藤 謙, 岡野 直樹, 五十嵐良典

24. 新規手法による内視鏡的ネクロセクトミーの一例

横浜市立市民病院 消化器内科 ○東 佑香, 小池 祐司, 杉本 祐一
辻野誠太郎, 角田 裕也, 伊藤 剛
今村 諭, 長久保秀一, 諸星 雄一
藤田由里子, 小松 弘一

25. 超音波内視鏡下穿刺吸引法 (EUS-FNA) で術前診断し得た膵腺房細胞癌の一例

東京都立駒込病院 消化器内科¹⁾ ○伊藤 公美¹⁾, 来間佐和子¹⁾, 柴田 理美¹⁾
同 内視鏡科²⁾ 千葉 和朗¹⁾, 大西 知子¹⁾, 菊山 正隆¹⁾
小泉 浩一¹⁾, 田畑 拓久²⁾, 荒川 丈夫²⁾
門馬久美子²⁾

評 価 者

東京女子医科大学 消化器内視鏡科
虎の門病院 消化器内科

中村 真一
布袋屋 修

専修医セッション 6/16 (土) 第4会場

9:00~9:21 胃1 座長 国立がん研究センター中央病院 内視鏡科 松本美野里

26. 見逃しのない内視鏡検査を目指して～当院のESD症例と後期研修1年間での胃がん内視鏡
検診症例より学ぶこと～

埼玉協同病院 消化器内科 ○杉山 鑑夫, 間野 真也, 孫 国東
天野 由紀, 大石 克巳, 久保地美奈子
守谷 能和, 忍 哲也, 辻 忠男
小野未来代, 増田 剛

27. 診断に苦慮した抗リウマチ剤内服中にサイトメガロウィルスによる胃潰瘍を合併した1例

昭和大学医学部内科学講座 消化器内科学部門(藤が丘病院) ○小澁 尚子, 鈴木 怜佳, 吉田詠里加
花村祥太郎, 浅見 哲史, 岩橋 健太
新谷 文崇, 東畑美幸子, 遠藤 利行
上原なつみ, 阿曾沼邦央, 山村 詠一
五味 邦代, 黒木優一郎, 山本 頼正
井上 和明, 長濱 正亞

28. メトトレキセート内服中の患者に発症したEBV-positive mucocutaneous ulcerの胃病変の1例

埼玉医科大学総合医療センター 消化器・肝臓内科 ○周東 成美, 可児 和仁, 杉浦 香織
内田 党央, 須田健太郎, 石橋 朗
藤田 徹郎, 荒井 亮士, 大塚 武史
細見英里子, 山口菜緒美, 林 健次郎
長船 靖代, 青山 徹, 宮城 直也
高林英日己, 松原 三郎, 加藤 真吾
岡 政志, 名越 澄子, 屋嘉比康治

9:21~9:42 胃2 座長 群馬大学医学部附属病院 消化器・肝臓内科 戸島 洋貴

29. 固形石鹼とビーズを誤飲し上部消化管内視鏡にて回収した一例

佐野厚生総合病院 ○猪口 和美, 岡村 幸重, 赤坂 茉莉
下嵯啓太郎, 上岡 直史, 上原 淳
寺元 研, 東澤 俊彦, 関根 忠一

30. 胃幽門部閉塞をきたし内視鏡的に除去し得た胃石の一例

順天堂大学医学部附属順天堂医院 消化器内科 ○池田 厚, 松本 紘平, 高橋 翔
谷田貝 昂, 赤澤 陽一, 芳賀 慶一
小森 寛之, 矢橋ひろみ, 泉 健太郎
村上 敬, 齊藤 紘昭, 上山 浩也
青山 友則, 松本 健史, 北條麻里子
永原 章仁

31. 胃瘻に伴う難治性瘻孔周囲炎に対し胃壁固定具での瘻孔閉鎖を試みた2症例

東海大学医学部付属大磯病院 消化器内科¹⁾ ○佐藤 博彦¹⁾, 出口 隆造¹⁾, 茂木英里香¹⁾
東海大学医学部付属病院 内科学系消化器内科²⁾ 安斎 和也¹⁾, 荒瀬 吉孝¹⁾, 峯 徹哉²⁾

9:42~10:10 胃3 座長 埼玉医科大学国際医療センター 消化器内視鏡科 真下 由美

32. 診断に苦慮した検診発見胃MALT リンパ腫の1例

川崎市立井田病院 内科¹⁾ ○加藤 薫¹⁾, 大森 泰²⁾
同 外科²⁾

33. ガストリン著明上昇を伴わない自己免疫性胃炎を背景とした神経内分泌腫瘍の1例

慶應義塾大学医学部 内科学（消化器） ○島田 史恵, 正岡 建洋, 加藤 元彦
水野 達人, 山本 悠太, 亀山 尚子
金井 隆典

34. 粘膜下層のgastritis cystica profundaに連続進展したと考えられた早期胃癌の1例

横浜労災病院 消化器内科¹⁾ ○尾崎 杏奈¹⁾, 金沢 憲由¹⁾, 森久保尚美¹⁾
同 内視鏡部²⁾ 白鳥 航¹⁾, 辻川真太郎¹⁾, 小林 貴¹⁾
同 病理診断科³⁾ 鈴木 雅人¹⁾, 高柳 卓矢¹⁾, 野上 麻子¹⁾
梅村 隆輔²⁾, 内山 詩織¹⁾, 関野 雄典¹⁾
川名 憲一²⁾, 永瀬 肇¹⁾, 角田 幸雄³⁾

35. 低用量S-1療法が予後改善に有用であった胃癌骨髄癌腫症の高齢者の1例

東京労災病院 消化器内科 ○山本友里恵, 西中川秀太, 児島 辰也
篠原 裕和, 掛川 達矢, 武田 悠希
原 精一, 高亀 道生, 大場 信之

10:10~10:31 胃4 座長 慶應義塾大学病院 腫瘍センター 低侵襲療法研究開発部門 中山 敦史

36. 早期胃癌に対して内視鏡的粘膜下層剥離術を施行したMarfan症候群の1例

日本医科大学付属病院 消化器・肝臓内科 ○河野 惟道, 貝瀬 満, 濱窪 亮平
福永 真衣, 小泉英里子, 樋口 和寿
野田 啓人, 鮑本 哲兵, 植木 信江
二神 生爾, 岩切 勝彦

37. 一部で腺窩上皮型成分を伴った幽門腺型腺腫に対し内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)を施行した一例

国立がん研究センター東病院 消化管内視鏡科¹⁾ ○熊原 加奈¹⁾, 中條恵一郎¹⁾, 大野 康寛¹⁾
同 病理・臨床検査科²⁾ 新村 健介¹⁾, 依田 雄介¹⁾, 堀 圭介¹⁾
池松 弘朗¹⁾, 桑田 健²⁾, 矢野 友規¹⁾

38. eCura systemを用いたESD適応拡大の可能性と問題点

日本医科大学 消化器・肝臓内科¹⁾ ○小泉英里子¹⁾, 後藤 修¹⁾, 鮑本 哲兵²⁾
慶應義塾大学医学部腫瘍センター 低侵襲療法研究開発部門²⁾ 植木 信江¹⁾, 川久保博文³⁾, 矢作 直久²⁾
慶應義塾大学医学部 一般・消化器外科³⁾ 北川 雄光³⁾, 藤田 逸郎⁴⁾, 太田恵一朗⁴⁾
日本医科大学 消化器外科⁴⁾ 貝瀬 満¹⁾, 内田 英二⁴⁾, 岩切 勝彦¹⁾

10:31~10:52 十二指腸1 座長 東京医科大学病院 消化器内視鏡学講座 杉本 暁彦

39. 黒色便を契機に発見されたブルネル腺過形成の1例

国立病院機構高崎総合医療センター 消化器内科¹⁾ ○吉成夫希子¹⁾, 工藤 智洋¹⁾, 堀口 英¹⁾
同 消化器外科²⁾ 柴崎絵理奈¹⁾, 村上 立真¹⁾, 増田 智之¹⁾
同 病理診断科³⁾ 星野 崇¹⁾, 安岡 秀敏¹⁾, 長沼 篤¹⁾
石原 弘¹⁾, 坂元 一郎²⁾, 田中 優子³⁾
宮永 朋実³⁾

40. 十二指腸腺腫に対するHybrid ESD後潰瘍にdental floss O-ring clipを用いた潰瘍底縫縮が有用であった一例

日本大学医学部内科学系 消化器肝臓内科学分野¹⁾ ○堀井 敏喜^{1,2)}, 池原 久朝^{1,2)}, 安藤皓一郎^{1,2)}
JA秋田厚生連由利組合総合病院 消化器内科²⁾ 市島 諒二¹⁾, 渋谷 仁^{1,2)}, 鈴木 翔¹⁾
草野 央¹⁾, 後藤田卓志¹⁾, 森山 光彦¹⁾

41. 脾動静脈奇形を契機に発症し、治療に難渋した十二指腸潰瘍の1例

伊勢崎市民病院 内科¹⁾ ○阿部 貴紘¹⁾, 清水 雄大¹⁾, 関口 雅則¹⁾
群馬大学医学部附属病院 消化器肝臓内科²⁾ 増田 淳¹⁾, 星 恒輝²⁾, 山田 俊哉²⁾
浦岡 俊夫²⁾

10:52~11:13 十二指腸2・小腸 座長 がん研有明病院 下部消化管内科 井出 大資

42. 妊娠を契機に再発しステロイド療法が著効した好酸球性胃腸炎の一例

平塚市民病院 消化器内科¹⁾ ○川村 允力¹⁾, 大久保直紀¹⁾, 田村 哲哉¹⁾
慶應義塾大学医学部 病理学教室²⁾ 友成 悠邦¹⁾, 後藤 駿吾¹⁾, 谷口 礼央¹⁾
武内悠里子¹⁾, 斯波 忠彦¹⁾, 厚川 和裕¹⁾
高橋 久雄¹⁾, 大喜多 肇²⁾

43. 広範囲な消化管粘膜障害を認めた一例

昭和大学横浜市北部病院 消化器センター ○峯岸 洋介, 工藤 進英, 武田 健一
小川 正隆, 渡邊 剛志, 前田 康晴
矢川 裕介, 一政 克朗, 小形 典之
望月 健一, 三澤 将史, 森 悠一
工藤 豊樹, 久行 友和, 林 武雅
若村 邦彦, 榎並 延太, 澤田 成彦
馬場 俊之, 日高 英二, 石田 文生

44. シングルバルーン式小腸鏡検査と体外式超音波検査を併用し診断に有用であった小腸腫瘍の2症例

町田市民病院 消化器内科 ○鈴木 英祐, 谷田恵美子, 門松雄一郎
石川 将史, 岩城 慶大, 渋谷 尚希
目黒 公輝, 岩城麻衣子, 河村 篤
益井 芳文, 和泉 元喜

評 価 者

防衛医科大学校 内科

渡辺知佳子

群馬大学医学部附属病院 消化器・肝臓内科

星 恒輝

研修医セッション 6/16 (土) 第4会場

13:20~13:48 胆道・膵 座長 順天堂大学医学部附属順天堂医院 消化器内科 齊藤 紘昭

45. EMLにて結石除去が困難であった巨大胆管結石に対して、経鼻内視鏡による直視下でのEHLが有用であった1例

けいゆう病院 ○小川 夕貴, 香川 幸一, 葛西 祐樹
岡田 直也, 北村 英俊, 伊藤 高章
中下 学, 岡沢 啓, 水城 啓
永田 博司

46. 演題取り下げ

47. 膵癌との鑑別に苦慮した腫瘍形成性膵炎の一切除例

SUBARU健康保険組合 太田記念病院 消化器内科¹⁾ ○遠藤 梓¹⁾, 伊島正志¹⁾, 木村浩一郎¹⁾
獨協医科大学 病理診断学講座²⁾ 永島一憲¹⁾, 栗原英心¹⁾, 落合康雄¹⁾
川上知孝¹⁾, 大竹陽介¹⁾, 黒田 一²⁾
今井康雄²⁾

48. 興味深い経過を示し,術前にEUS-FNAで診断しえた,多血性膵腫瘍の一切除例

一般財団法人警友会 けいゆう病院 ○水島 一郎, 北村 英俊, 香川 幸一
葛西 祐樹, 岡田 直也, 伊藤 高章
中下 学, 岡沢 啓, 水城 啓
永田 博司

13:48~14:23 大腸 座長 東京医科歯科大学医学部附属病院 光学医療診療部 福田 将義

49. 経口腸管洗浄剤により有害事象をきたした2例

佐野厚生総合病院 ○星 健太

50. 高度な動脈硬化関連疾患を背景とする盲腸に局限した一過性型虚血性大腸炎の一例

虎の門病院 消化器内科 ○和田 典也, 鈴木 悠悟, 落合 頼業
和田有美子, 田中 匡実, 岡本 陽裕
野村 浩介, 栗林 泰隆, 山下 聡
松井 啓, 三谷 年史, 菊池 大輔
飯塚 敏郎, 布袋屋 修

51. 横行結腸、S状結腸吻合術後に発生した真性腸石による腸閉塞の一例

横浜南共済病院 消化器内科 ○松下 直彦, 天野 仁至, 岡 裕之
岡崎 博, 金子 卓, 有馬 功
中野間 紘, 飯塚 千乃, 小串 勝昭
三井 智弘, 鈴木 良優, 中山 沙映
嵩原小百合, 船岡 昭宏, 石田 彩花

52. 若年男性間性交渉者に発症したサイトメガロウイルス大腸炎の1例

北里大学北里研究所病院 炎症性腸疾患先進治療センター¹⁾ ○佐伯 美帆¹⁾, 佐上晋太郎¹⁾, 小林 拓¹⁾
同 消化器内科²⁾ 尾崎 良²⁾, 岡林 慎二¹⁾, 宮本 康雄²⁾
牧田 遊子²⁾, 中野 雅²⁾, 常松 令²⁾
土本 寛二²⁾, 日比 紀文¹⁾

53. サーベイランス内視鏡で発見しえたCrohn病肛門管High-grade dysplasiaの1例

東京大学 腫瘍外科¹⁾ ○渡邊 遥¹⁾, 佐々木和人¹⁾, 畑 啓介¹⁾
東京大学医学部附属病院 病理部²⁾ 大谷 研介¹⁾, 品川 貴秀¹⁾, 川合 一茂¹⁾
田中 敏明¹⁾, 西川 武司¹⁾, 金子 学¹⁾
室野 浩司¹⁾, 江本 成伸¹⁾, 岡田 聡¹⁾
池村 雅子²⁾, 野澤 宏彰¹⁾

14:23~14:51 胃・小腸 座長 筑波大学 消化器内科 日下部涼子

54. 胃瘻カテーテルの経年劣化に伴わない事故除去が短期間に2回生じ,再留置後幽門洞に残存したバンパー部分を内視鏡的に回収した1例

横須賀市立市民病院 ○吉井優理子, 山形 寿文, 鈴木 悠一
久保井頼子, 道端 信貴, 小松 和人

55. 経皮内視鏡的胃瘻造設後に胃壁固定具が腹直筋に迷入した1例

横浜市立大学附属市民総合医療センター 内視鏡部¹⁾ ○石井 彰¹⁾, 小林 亮介¹⁾, 澤田 敦史¹⁾
横浜市立大学 消化器内科²⁾ 池田 良輔¹⁾, 福地 剛秀¹⁾, 佐藤 知子¹⁾
平澤 欣吾¹⁾, 前田 慎²⁾

56. 貧血を契機に小腸バルーン内視鏡で診断されたLST様回腸腫瘍の一例

東京医科歯科大学医学部附属病院 消化器内科¹⁾ ○山崎 佳穂¹⁾, 竹中 健人²⁾, 日比谷秀爾¹⁾
同 光学医療診療部²⁾ 勝倉 暢洋²⁾, 仁部 洋一¹⁾, 根本 泰宏¹⁾
同 大腸肛門外科³⁾ 鬼澤 道夫¹⁾, 新田沙由梨¹⁾, 村川美也子¹⁾
同 病理部⁴⁾ 北畑富貴子¹⁾, 藤井 俊光¹⁾, 岡田英理子¹⁾
柿沼 晴¹⁾, 岡本 隆一¹⁾, 中川 美奈¹⁾
大島 茂¹⁾, 福田 将義²⁾, 山内 慎一³⁾
大西威一郎⁴⁾, 大塚 和朗²⁾, 渡辺 守¹⁾

57. Trisomy8を伴う骨髄異形成症候群に多発性単純性潰瘍を合併した一例

防衛医科大学校病院 内科学2講座¹⁾ ○高橋 駿¹⁾, 伊東 傑¹⁾, 村原 なみ¹⁾
同 光学医療診療部²⁾ 露木 和彬¹⁾, 西村 弘之¹⁾, 中山 花奈¹⁾
富岡 明¹⁾, 杉原 奈央¹⁾, 和田 晃典¹⁾
堀内 和樹¹⁾, 塙 芳典¹⁾, 古橋 廣崇¹⁾
東山 正明¹⁾, 渡辺知佳子¹⁾, 高本 俊介²⁾
穂苅 量太¹⁾, 永尾 重昭²⁾

14 : 51~15 : 12 食道 座長 杏林大学医学部 第三内科学教室 大野亜希子

58. 抗血栓薬3剤内服下に発症した食道壁内血腫の一例

東京通信病院 消化器内科 ○岸谷達史朗, 関川憲一郎, 古谷 建悟
加藤 知爾, 大久保政雄, 小林 克也
光井 洋, 橋本 直明

59. サイトメガロウィルス(CMV)感染を合併したPD-L1陽性早期食道癌の1例

新東京病院 消化器内科¹⁾ ○村上 大輔¹⁾, 原田 英明¹⁾, 大和 雅之²⁾
東京女子医科大学 先端生命医科学研究所²⁾ 清水 貴徳¹⁾, 末廣 聡士¹⁾, 勝山 泰志¹⁾
早坂 健司¹⁾, 天野 祐二¹⁾

60. 化学療法により速やかに症状改善した食道神経内分泌癌の一例

東京歯科大学市川総合病院 消化器内科 ○伊藤 史磨, 尾城 啓輔, 市川 将隆
荒畑 恭子, 財部紗基子, 貝田 将郷
岸川 浩, 西田 次郎

一般演題 6/17 (日) 第3会場

9:20~9:52 胆道1 座長 日本医科大学 消化器肝臓内科 金子 恵子

61. 針状メスによるプレカットを先行させたESTの2例

三省会堀江病院 外科・消化器科 ○竹東正二郎, 山下 達矢, 横山 義信
堀江 健司

62. EUSにて診断し得たVater乳頭部嵌頓結石による急性膵炎の一例

昭和大学藤が丘病院内科学講座 消化器内科部門 ○高野 祐一, 新谷 文崇, 小林 孝弘
山村 詠一, 丸岡 直隆, 浅見 哲史
岩橋 健太, 小澁 尚子, 吉田詠里加
東畑美幸子, 鈴木 怜佳, 遠藤 利行
林 将史, 上原なつみ, 花村祥太郎
阿曾沼邦央, 五味 邦代, 黒木優一郎
山本 頼正, 井上 和明, 長浜 正亞

63. 胆道疾患に対する経口胆道鏡(SpyGlassTMDS)の使用経験

埼玉石心会病院 消化器内科¹⁾ ○阿部 敏幸¹⁾, 坂本 竜二¹⁾, 水野 寿一¹⁾
東京西徳洲会病院²⁾ 高柳 駿也¹⁾, 関根 章裕¹⁾, 山本 龍一²⁾

64. transluminalアプローチ困難症例に対する胆道ドレナージ戦略

国立がん研究センター中央病院 肝胆膵内科¹⁾ ○坂本 康成¹⁾, 脇岡 範¹⁾, 前原 耕介¹⁾
同 消化管内視鏡科²⁾ 小宮山哲史¹⁾, 丸木 雄太¹⁾, 大場 彬博¹⁾
永塩 美邦¹⁾, 坂本 琢²⁾, 吉永 繁高²⁾
斎藤 豊²⁾

9:52~10:24 胆道2 座長 帝京大学医学部附属溝口病院 消化器内科 馬淵 正敏

65. 肝内胆管遺残X線透過性チューブステント抜去に胆道鏡観察が有用であった1例

国立がん研究センター中央病院 肝胆膵内科¹⁾ ○小宮山哲史¹⁾, 脇岡 範¹⁾, 丸木 雄太¹⁾
同 内視鏡科²⁾ 大場 彬博¹⁾, 坂本 康成¹⁾, 斎藤 豊²⁾

66. 胆管金属ステント (SEMS) が自然破損していた1例

東京都立広尾病院 消化器内科 ○梅村 佳世, 金子 朋浩, 糸日谷瑠奈
渡部 衛, 小島 直紀, 岡本 英子
鈴木 伸治, 江川 直人

67. 逸脱した胆管ステントにより腸閉塞を来した2例

横浜新緑総合病院 消化器センター 外科¹⁾ ○宮島 綾子¹⁾, 齊藤 修治¹⁾, 佐々木一憲¹⁾
同 消化器内科²⁾ 三浦 康誠¹⁾, 平山 亮一¹⁾, 大塚 亮¹⁾
進藤 幸人²⁾, 片岡 涼子²⁾, 塩沢 牧子²⁾
桑本 信綱²⁾, 藤田 力也²⁾

68. 肝門部胆道悪性狭窄に対するZEOSTENT Vの早期使用経験

国立がん研究センター中央病院 肝胆膵内科¹⁾ ○丸木 雄太¹⁾, 脇岡 範¹⁾, 小宮山哲史¹⁾
同 内視鏡科²⁾ 大場 彬博¹⁾, 坂本 康成¹⁾, 斎藤 豊²⁾

10:24~10:48 膵・肝臓 座長 群馬大学医学部附属病院 消化器・肝臓内科 山崎 勇一

69. 狭窄を伴う主膵管内に迷入したステント回収にガイドワイヤ式片開き生検鉗子が有用であった一例

東金九十九里地域医療センター 東千葉メディカルセンター 消化器内科 ○泉水美有紀, 亀崎 秀宏, 妹尾 純一
坂本 大

70. 局所進行切除不能膵癌に対し超音波内視鏡ガイド下にSTNM01注入を施行した1例

東京都健康長寿医療センター 消化器内科¹⁾ ○藤井 悠子¹⁾, 西村 誠²⁾, 武村 拓也¹⁾
同 内視鏡科²⁾ 松川 美保²⁾, 潮 靖子¹⁾, 松田 陽子³⁾
同 病理診断科³⁾ 新井 富生³⁾, 上垣佐登子¹⁾, 矢作 直久⁴⁾
慶應義塾大学医学部腫瘍センター 低侵襲療法研究開発部門⁴⁾

71. 経皮経肝静脈瘤塞栓術が著効した直腸静脈瘤の一例

おおたかの森病院 消化器肝臓内科 ○神田 仁, 安達 哲史, 島田 紀朋

10:48~11:20 食道1 座長 埼玉県立がんセンター 消化器内科 吉井 貴子

72. 内視鏡的に切除し得た上咽頭扁平上皮癌の1例

川崎市立井田病院 外科¹⁾ ○藤村 知賢¹⁾, 大森 泰²⁾, 大山 隆史¹⁾
同 内視鏡センター²⁾ 玉川 英史¹⁾, 有澤 淑人¹⁾

73. アルゴンプラズマ凝固法（APC）で治療した早期食道癌の1例

東海大学医学部付属大磯病院 外科¹⁾ ○富奥 美藤¹⁾, 島田 英雄¹⁾, 西 隆之¹⁾
東海大学医学部 消化器外科²⁾ 田島 隆行¹⁾, 大宜見 崇¹⁾, 陳 凌風¹⁾
小澤 壯治²⁾

74. 食道憩室上の早期食道癌に対してESDを施行した一例

国家公務員共済組合連合会 立川病院 外科¹⁾ ○武居 友子¹⁾, 水野 翔大¹⁾, 瀬尾 雄樹¹⁾
同 病理科²⁾ 西山 亮¹⁾, 服部 裕昭¹⁾, 亀山 哲章¹⁾
川崎市立井田病院 内視鏡センター³⁾ 秋山 芳伸¹⁾, 緒方謙太郎²⁾, 大森 泰³⁾

75. 食道癌根治切除術後短期経過観察中に内視鏡にて再発病変が指摘された1例

慶應義塾大学医学部 外科学教室(一般・消化器) ○天田 塩, 中村理恵子, 眞柳 修平
和田 則仁, 須田 康一, 川久保博文
北川 雄光

11:20~11:52 食道2

座長 NTT東日本関東病院 消化器内科 村元 喬

76. 粘膜下層深部への浸潤を認めたバレット腺癌の一例

慶應義塾大学医学部 消化器内科¹⁾ ○堀江 知史¹⁾, 加藤 元彦¹⁾, 中山 敦史³⁾
同 内視鏡センター²⁾ 木村佳代子²⁾, 福原誠一郎²⁾, 高林 馨²⁾
同 腫瘍センター 低侵襲療法研究開発部門³⁾ 細江 直樹²⁾, 矢作 直久³⁾, 緒方 晴彦²⁾
慶應義塾大学病院 予防医療センター⁴⁾ 岩男 泰⁴⁾, 金井 隆典¹⁾

77. 食道扁平上皮癌根治的手術後に発生したリンパ節腫大に対してEUS-FNAを用いて神経内分泌癌(NEC)と診断した1例

筑波大学附属病院 消化器内科¹⁾ ○廣瀬 優¹⁾, 長谷川直之¹⁾, 山本 祥之¹⁾
同 光学医療診療部²⁾ 兵頭一之介¹⁾, 溝上 裕士²⁾

78. 診断に苦慮した非色素性悪性黒色腫の1例

杏林大学医学部 第三内科¹⁾ ○八谷 隆仁¹⁾, 楠原 光謹¹⁾, 田邊 秀聡¹⁾
同 腫瘍内科²⁾ 新井 健介¹⁾, 神保 陽子¹⁾, 大野亜希子¹⁾
同 病理学教室³⁾ 森 秀明¹⁾, 久松 理一¹⁾, 小林 敬明²⁾
長島 文夫²⁾, 古瀬 純司²⁾, 岡部 直太³⁾
菅間 博³⁾

79. 中部食道憩室の合併により食道内に食物残渣の貯留をきたし食事摂取ができなくなった一例

横浜掖済会病院 内科 ○小野寺 翔, 鈴木 伸吾, 石井ゆにば
伊藤ちひろ, 内藤 実, 長倉 靖彦

14 : 00～14 : 32 胃1 座長 東京都がん検診センター 消化器内科 山里 哲郎

80. *H.pylori* 感染胃炎の除菌による症状経過の検討

あそか病院 内科¹⁾ ○小熊 一豪¹⁾, 佐藤 雅³⁾, 久保 定徳¹⁾
同 外科²⁾ 白石 廣照²⁾, 矢野 剛司²⁾, 相原 成昭²⁾
昭和大学江東豊洲病院 消化器センター³⁾ 松川 正明¹⁾, 熊谷 一秀²⁾

81. 存在診断と範囲診断に難渋した早期胃癌の一例

慶應義塾大学医学部 一般・消化器外科 ○山下 俊樹, 中村理恵子, 真柳 修平
須田 康一, 和田 則仁, 川久保博文
北川 雄光

82. 無症状で発見された限局性胃アミロイドーシスの1例

東海大学医学部附属病院 消化器内科 ○佐野 正弥, 中原 史雄, 水上 創
中村 淳, 内田 哲史, 小池 潤
鈴木 孝良, 松嶋 成志

83. 胃前庭部毛細血管拡張症を契機に診断された強皮症の1例

都立駒込病院 消化器内科¹⁾ ○門阪真知子¹⁾, 大西 知子¹⁾, 荒川 丈夫²⁾
同 内視鏡科²⁾ 柴田 理美¹⁾, 千葉 和朗¹⁾, 田畑 拓久²⁾
来間佐和子¹⁾, 門馬久美子²⁾, 菊山 正隆¹⁾
小泉 浩一¹⁾

14 : 32～15 : 04 胃2・十二指腸1 座長 自治医科大学 内科学講座 消化器内科部門 岩下ちひろ

84. 内視鏡的粘膜下層剥離術 (ESD) のおける後出血の特徴とリスク因子の検討

NTT東日本関東病院 消化器内科 ○小西 隆文, 大圃 研, 松橋 信行
瀧田麻衣子, 村元 喬, 酒井 英嗣
木本 義明, 石井 鈴人, 根岸 良充
小川さや香

85. 内視鏡的止血術後に生じた左胃動脈瘤を生じた出血性胃潰瘍の1例

東京医科大学病院 消化器内科¹⁾ ○班目 明¹⁾, 辻 雄一郎¹⁾, 松本 泰輔¹⁾
同 消化器内視鏡学²⁾ 勝呂 麻弥¹⁾, 内田久美子¹⁾, 小山 洋平¹⁾
森瀬 貴之¹⁾, 山口 隼¹⁾, 杉本 暁彦¹⁾
青木 勇樹¹⁾, 山内 芳也¹⁾, 河野 真¹⁾
福澤 誠克¹⁾, 河合 隆²⁾, 糸井 隆夫¹⁾

86. 内視鏡的止血が困難で一時心肺停止となるも集学的治療で救命し得た十二指腸後壁出血性潰瘍の一治療経過

東名厚木病院 消化器外科¹⁾ ○神山 公希¹⁾, 山口 哲司¹⁾, 眞鍋 高宏¹⁾
同 救急総合科²⁾ 加藤 奈月¹⁾, 安西 秀聡²⁾, 矢野 貴彦³⁾
同 消化器内科³⁾ 川井貴美子³⁾, 新井 圭一³⁾, 中野 敦史³⁾
富山大学大学院医学薬学研究部 消化器腫瘍総合外科⁴⁾ 山下 巖²⁾, 魚谷 英之¹⁾, 藤井 努⁴⁾

87. 逸脱した胃十二指腸ステントが脾彎曲部に滞留後も、化学療法を継続できた進行胃癌の一例

大和市立病院 消化器内科 ○柳田 直毅, 林 慧, 浅見 昌樹
亀田 亮, 山本 和寿

15:04~15:28 十二指腸2・小腸 座長 自治医科大学 内科学講座 消化器内科部門 小林 泰俊

88. 胃幽門部潰瘍を契機に診断された先天性十二指腸狭窄症の1成人例

川崎市立川崎病院 内科¹⁾ ○松原 祥平¹⁾, 井上健太郎¹⁾, 野間絵梨子¹⁾
同 内視鏡センター²⁾ 津軽 開¹⁾, 脇坂 悠介¹⁾, 花田 亮太¹⁾
有泉 健¹⁾, 高木 英恵¹⁾, 玉井 博修¹⁾
相浦 浩一²⁾

89. 頻回手術後の高度癒着を有する腸閉塞症に対して小腸内視鏡下バルーン拡張術が奏功し手術を回避した一例

谷津保健病院 外科 ○成田 徹, 村瀬 博美, 米田 五大
岩崎 圭, 宮崎正二郎

90. カプセル内視鏡で観察しえた『アジア条虫(Taenia asiatica)』の一例

深谷赤十字病院 消化器科¹⁾ ○江藤 宏幸¹⁾, 川辺 晃一¹⁾, 葛西 豊高¹⁾
同 外科²⁾ 宮原 庸介¹⁾, 岩前 成紀¹⁾, 田中 健丈¹⁾
今井 崇紀¹⁾, 福田 裕昭¹⁾, 中原 守康¹⁾
村松 誠司¹⁾, 山田 千寿²⁾, 釜田 茂幸²⁾
藤田 昌久²⁾, 新田 宙²⁾, 石川 文彦²⁾
伊藤 博²⁾

15:28~15:52 大腸6 座長 日本大学医学部内科学系 消化器肝臓内科学分野 鈴木 翔

91. 上行結腸の炎症性偽腫瘍が原因と考えられる腸重積症の1例

埼玉医科大学病院 消化器内科肝臓内科 ○浅見真衣子, 今井 幸紀, 印藤 佳織
鈴木 隆信, 鷹野 雅史, 瀧上 彰
斎藤 陽一, 塩川 慶典, 藤井 庸平
内田 義人, 打矢 紘, 中澤 学
安藤さつき, 菅原 通子, 中尾 将光
本谷 大介, 中山 伸朗, 持田 智

92. 内視鏡的整復が有効であった横行結腸捻転の一例

菊名記念病院 消化器内科 ○宮尾 直樹, 西元 史哉, 中村 仁紀
佐藤 知己

93. S状結腸軸捻転を契機に下腸管膜静脈血栓をきたした一例

独立行政法人国立病院機構東京医療センター ○木下 聡, 西澤 俊宏, 中里 圭宏
平井悠一郎, 窪澤 陽子, 砂田由紀恵
伴野 繁雄, 松下美紗子, 森 英毅
菊池 真大

15:52~16:16 大腸7 座長 東邦大学医療センター大橋病院 外科 長尾さやか

94. 直腸癌術後吻合部完全閉塞に対し内視鏡的拡張術を施行した1例

自治医科大学附属さいたま医療センター 消化器内科 ○三浦 孝也, 関根 匡成, 森野 美奈
松本 圭太, 賀嶋ひとみ, 小糸 雄大
高橋 裕子, 坪井瑠美子, 石井 剛弘
藤原 純一, 上原 健志, 浦吉 俊輔
湯橋 一仁, 浅野 岳晴, 松本 吏弘
鷲原 規喜, 宮谷 博幸, 眞嶋 浩聡

95. 大腸ステント逸脱に対して内視鏡的除去に成功した一例

伊勢崎市民病院 内科 ○関口 雅則, 増尾 貴成, 小板橋佑輔
石原 眞悟

96. 穿孔2例を含めた大腸ステント経験から、より安全な留置法や適応を探る

茨城県立中央病院 消化器内科¹⁾ ○石橋 肇¹⁾, 松崎 裕幸¹⁾, 本多 寛之¹⁾
筑波大学附属病院²⁾ 藤枝 真司¹⁾, 小松 義希²⁾, 山岡 正治¹⁾
瀬山 侑亮¹⁾, 荒木 眞裕¹⁾, 五頭 三秀¹⁾
大関 瑞治¹⁾, 天貝 賢二¹⁾, 飯島 一飛¹⁾

一般演題 6/17 (日) 第 4 会場

9:20~9:44 大腸1 座長 国立がん研究センター中央病院 検診センター／内視鏡科 中村 佳子

97. 当院における下部消化管内視鏡検査の見落とし症例の特徴－依頼医の立場から－

東京都立大塚病院 ○田中 啓, 目時加奈恵, 平昭 衣梨
倉田 仁, 檀 直彰, 藤木 和彦

98. 大腸内視鏡検査におけるLASEREOシステムの有用性の検討

東京慈恵会医科大学葛飾医療センター 内視鏡部 ○猪又 寛子, 川原 洋輔, 加藤 正之

99. Gel immersion endoscopyによる視野確保は急性出血性直腸潰瘍において特に有効である

自治医科大学附属病院 消化器内科 ○大森 彩子, 矢野 智則, 岡田 昌浩
高岡 良成, 坂本 博次

9:44~10:16 大腸2 座長 大船中央病院 消化器・IBDセンター 森川 吉英

100. 直腸癌を合併した直腸粘膜脱症候群の1例

東京医科大学病院 消化器内科¹⁾ ○青木 勇樹¹⁾, 河野 真¹⁾, 八木 健二¹⁾
新座志木中央総合病院 消化器内科²⁾ 河合 隆³⁾, 糸井 隆夫¹⁾, 根本 大樹²⁾
東京医科大学病院 内視鏡センター³⁾ 清宮 怜²⁾, 新戸 禎哲²⁾

101. 大腸を用いた代用膀胱 (Indiana Pouch) 内に発生した大腸癌の1例

順天堂大学医学部附属順天堂医院 下部消化管外科 ○土谷 祐樹, 雨宮 浩太, 萩原 俊昭
松澤 宏和, 牧野有里香, 茂木 俊介
塚本 亮一, 河野 真吾, 河合 雅也
丹羽浩一郎, 石山 隼, 杉本 起一
神山 博彦, 小見山博光, 高橋 玄
小島 豊, 奥澤 淳司, 富木 裕一
坂本 一博

102. ESDによる一括切除で下痢症状が改善した直腸絨毛腫瘍の一例

国立国際医療研究センター国府台病院 消化器肝臓内科 ○池上友梨佳, 矢田 智之, 八木 豊一
岩崎 秀治, 久野木康仁, 伊藤 光一
鈴木 桂悟, 板倉 由幸, 青木 孝彦
小飯塚仁彦, 今村 雅敏, 上村 直美

103. 大腸粘膜内癌のESD後2年目に癒痕部に進行癌を認めた1例

湘南鎌倉総合病院 消化器病センター¹⁾ ○佐々木亜希子¹⁾, 江頭 秀人¹⁾, 所 晋之助¹⁾
同 外科²⁾ 市田 親正¹⁾, 河内 順²⁾, 西野 敬祥¹⁾
同 救急総合診療科³⁾ 田澤 智彦¹⁾, 成 志弦¹⁾, 田崎 潤一¹⁾
同 病理診断部⁴⁾ 増田 作栄¹⁾, 小泉 一也¹⁾, 隅田ちひろ³⁾
小野寺俊幸³⁾, 寺根 亜弥³⁾, 中野秀比古³⁾
稲田 悠³⁾, 工藤まどか⁴⁾, 武田宏太郎⁴⁾
手島 伸一⁴⁾, 賀古 眞¹⁾

10:16~10:48 大腸3 座長 国立がん研究センター東病院 消化管内視鏡科 新村 健介

104. 直腸神経内分泌腫瘍2病変に対し内視鏡的切除術を施行した1例

国家公務員共済組合連合会平塚共済病院 ○北川 博之, 西山 竜, 北原 言
寺田 昌弘, 河西顕太郎, 菊地 秀彦
里道 哲彦, 山崎 好喜, 野登 誠
松原 修

105. EMRを施行し得た無色素性直腸悪性黒色腫の一例

筑波記念病院 消化器内科 ○小林真理子, 萩原 悠也, 岩井健太郎
越智 大介, 大塚公一朗, 添田 敦子
池澤 和人

106. 拡大肛門鏡検査によって発見されたHPV関連肛門管上皮内腫瘍の2例

杏林大学医学部 腫瘍内科¹⁾ ○北村 浩^{1, 2)}, 藤原 正親³⁾, 柴原 純二³⁾
立正佼成会附属佼成病院 内科/緩和ケア科²⁾ 山内 芳也¹⁾, 岡野 尚弘¹⁾, 長島 文夫^{1, 3)}
杏林大学医学部 病理学教室³⁾ 古瀬 純司¹⁾

107. 粘膜下腫瘍の形態を呈した乳癌大腸転移の1例

順天堂大学医学部附属順天堂医院 ○岡原 昂輝, 村上 敬, 立之 英明
赤澤 陽一, 泉 健太郎, 福嶋 浩文
上山 浩也, 石川 大, 松本 健史
澁谷 智義, 坂本 直人, 萩原 達雄
永原 章仁

10:48~11:20 大腸4

座長 北里大学医学部 消化器内科学 川岸 加奈

108. 出産後に再燃した腸管ペーチェット病の一例

済生会宇都宮病院 消化器内科 ○関 謙太郎, 田原 利行, 望月 万里

109. 結節性紅斑で発症した右側潰瘍性大腸炎の一例

荻窪病院 消化器内科¹⁾ ○大久保恒希¹⁾, 味生 洋志¹⁾, 鈴木 健一¹⁾
同 皮膚科²⁾ 池谷 仁美¹⁾, 林 量司¹⁾, 中村 雄二¹⁾
小林祐香莉²⁾, 八谷 美穂²⁾, 布袋 祐子²⁾

110. 内視鏡的粘膜正常化した潰瘍性大腸炎における再燃の組織学的リスク因子

北里大学北里研究所病院 炎症性腸疾患先進治療センター¹⁾ ○尾崎 良¹⁾, 小林 拓¹⁾, 中野 雅²⁾
同 胃腸センター²⁾ 原 敦子³⁾, 大部 誠³⁾, 日比 紀文¹⁾
同 病理診断科³⁾

111. 便潜血に対する精査にて発見されたTangier病疑いの1例

JAとりで総合医療センター 消化器内科 ○飯塚 泰弘, 福田 啓太, 杉山 勇太
志水 太郎, 遠藤 南, 橋口 真子
後藤 文男, 河村 貴広

11:20~11:52 大腸5

座長 埼玉医科大学 消化管内科 都築 義和

112. 診断および治療効果判定に苦慮した、回腸終末部潰瘍を伴った結核性腹膜炎・胸膜炎の1例

深谷赤十字病院 消化器科¹⁾ ○川辺 晃一¹⁾, 宮原 庸介¹⁾, 葛西 豊高¹⁾
同 外科²⁾ 福田 裕昭¹⁾, 江藤 宏幸¹⁾, 村松 誠司¹⁾
中原 守康¹⁾, 今井 崇紀¹⁾, 田中 健丈¹⁾
石川 文彦²⁾, 新田 宙²⁾, 釜田 茂幸²⁾
山田 千寿²⁾, 伊藤 博²⁾

113. 若年女性に発症した虚血性腸炎の1例

総合磐城共立病院 消化器内科 ○草野 昌男, 駒沢 大輔, 土佐 正規
池田 智之, 高橋 成一, 池谷 伸一
中山 晴夫

114. アスピリン内服中に憩室関連性腸炎から狭窄をきたし手術に至った一例

藤沢湘南台病院 消化器内科¹⁾ ○松田 玲圭¹⁾, 菅野 綾¹⁾, 大熊 幹二¹⁾
同 健診センター²⁾ 金尾 浩幸¹⁾, 高橋 大介²⁾, 鈴木紳一郎³⁾
同 外科³⁾ 下山 潔⁴⁾
同 病理部⁴⁾

115. *Helicobacter pylori* 2 次除菌治療薬の3剤すべてがDLST陽性であった薬剤起因性出血性
大腸炎の1例

独立行政法人国立病院機構 宇都宮病院 消化器内科¹⁾ ○前田 光徳^{1, 2)}, 平石 秀幸²⁾

獨協医科大学 消化器内科²⁾

第107回日本消化器内視鏡学会関東支部例会 ご案内と演題募集のお知らせ

会 長：山本 博徳（自治医科大学 内科学講座 消化器内科学部門）

会 期：2018年（平成30年）12月15日（土）・16日（日）

会 場：シェーンバッハ・サボー（〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-7-5）

主題（シンポジウム、パネルディスカッション、ビデオワークショップ）、

一般演題、研修医セッション、専修医セッション（口演：公募）

消化器内視鏡に関する演題を広く募集いたします。

応募は「本学会および他の学会で未発表」で、「倫理規定に抵触しない」演題に限ります。

口演は全てコンピュータープレゼンテーションです。

演者数につきましては、主題：5名以内、一般演題、研修医セッション、専修医セッション：21名以内としてください。

※演題発表時に研修医（初期研修医）および専修医（後期研修医）が筆頭演者の演題のうち、優れた5演題を選出し表彰いたします。受賞者には奨励金として3万円を贈呈いたします。さらに、筆頭演者は翌年春の日本消化器内視鏡学会総会へ招待されます。（学会参加費、交通費、宿泊費等は日本消化器内視鏡学会が負担します。）奮ってご応募ください。

演題登録の際、「講演形態」選択肢欄の『研修医』『専修医』を選択し、登録してください。

シンポジウム

「炎症性腸疾患診療における内視鏡の役割」

司会 慶應義塾大学病院 予防医療センター

岩男 泰

東京医科歯科大学医学部附属病院 光学医療診療部 大塚 和朗

炎症性腸疾患（IBD）に遭遇することが多くなった。内視鏡は消化管診療の中心にあるが、IBD診療における内視鏡の役割はどうであろうか。診断する上で病変の形態は、本邦のIBDの診断基準では大きな比重を占める。こうした中で、潰瘍性大腸炎では、内視鏡所見に基づく治療方針の策定や予後予測、癌サーベイランスの方法などの課題がある。クローン病では、大腸のみならず小腸病変をどのように把握するかということも考えていかねばならない。さらに、腸管バーチェット／単純性潰瘍やCEASにも関心が寄せられており、内視鏡の役割は一層増大しているように考えられる。その一方で、CTやMRI、超音波検査などの検査機器の活用が唱えられ、新規バイオマーカーも発表されており、疾患のモニターをどのようにしていくのかという議論がある。さらに、診断や評価に加え、低侵襲に直接病変にアプローチできる内視鏡の特性を生かした腸管狭窄に対する拡張術等の治療内視鏡はどうであろうか。他方、内視鏡検査の負担や偶発症といった負の側面も考慮していく必要がある。多方面からの報告をいただきたい。

シンポジウム

「ヘリコバクター・ピロリ陰性時代の消化器内視鏡」

司会 防衛医科大学校 光学医療診療部

永尾 重昭

昭和大学江東豊洲病院 消化器センター 井上 晴洋

近年ではヘリコバクター・ピロリの感染率が著明に低下しており、*H. pylori* 陰性者の割合が増加している。この感染率の低下に伴い上部消化管疾患の疾患頻度が変化しつつある。若年層では、*H. pylori* 未感染者の増加とともに *H. pylori* 感染性の消化性潰瘍は激減すると共に、胃食道逆流症（GERD）の患者の増加傾向が予想されている。さらには、胃癌も *H. pylori* 陽性胃癌から、除菌後、未感染粘膜からの報告も増加している。除菌後胃癌は特に内視鏡治療後に異時性に発生する多くの分化型胃癌のみならず、頻度は低いが予後の悪い低分化型癌にも注意を要する。未感染ではその代表が粘膜内に限局する印環細胞癌がありさらには胃型形質を主体とする低異型度の胃底腺型胃癌が注目されている。疾患動態の変化のみならず *H. pylori* 陰性胃癌の拾い上げなどや種々の食道、胃、十二指腸疾患特に *H. pylori* 胃潰瘍、十二指腸潰瘍、自己免疫性胃炎、GERD などの良性疾患も含め、消化器内視鏡観察上のコツ、留意点なども含め現状提示とともに今後の消化器内視鏡あり方など提案して頂きたい。

ビデオワークショップ

「安全な切除法 -CSP から ESD まで-」

司会 北里大学医学部 新世紀医療開発センター

田邊 聡

慶應義塾大学医学部 腫瘍センター低侵襲療法研究開発部門 矢作 直久

近年の内視鏡医療の進歩は目覚ましく、リンパ節転移のリスクがほとんどないと考えられる上皮性腫瘍の多くが、内視鏡的に切除されるようになった。また新たな治療手技の登場に伴いその手技に適した様々な処置具も開発され、以前に比べてより安全かつ確実に切除できるようになり、内視鏡治療は根治を目指せる信頼できる治療法となった。しかし術者は、腫瘍のサイズや形態、悪性度に応じて、安全かつ過不足のない切除を可能とする治療手技を選択しなければならない。例えば極小さな良性腫瘍であれば Cold forceps polypectomy や Cold snare polypectomy でも十分であるし、少し大きめの病変であれば EMR や Underwater EMR となり、より大きな病変や悪性度の高い病変であれば ESD での確実な切除が必要になってくる。また消化管は、食道、胃、十二指腸、大腸においてそれぞれの臓器特性が異なっており、適切な治療手技やその難易度も異なってくる。本セッションでは、対象病変をより安全に切除するための治療手技の選択基準や、治療成績、偶発症を回避するための新たな工夫について発表して頂きたい。

ビデオワークショップ

「初学者の立場からみた胆膵内視鏡指導のあり方」

司会 自治医科大学附属さいたま医療センター 消化器内科 眞嶋 浩聡
獨協医科大学 消化器内科 入澤 篤志

胆膵内視鏡には大きく ERCP (endoscopic retrograde cholangiopancreatography) と EUS (endoscopic ultrasonography) があるが、いずれも難易度が高い検査である。これまで指導者からみた教育論や方法論は多く、最近ではテキスト、DVD、ライブデモンストレーションも増えてきた。しかし、消化管内視鏡と比較してトレーニングモデルが少なく、指導者からの直接指導でスキルアップを図っているのが実情である。胆膵内視鏡の指導が十分に行える内視鏡医の数は需要に比して十分とは言えず、胆膵内視鏡医の育成は重要な課題である。そのためには指導者からの視点だけでなく、初学者がいかにして困難点を克服したか、その指導方法、ラーニングカーブの推移など、初学者の観点からの発表も重要である。そこで、本セッションでは、初学者の立場からみて困難点を克服するには何が有効であったかを発表して頂きたい。ERCP ではスコープの挿入、十二指腸のストレッチ、Vater 乳頭の正面視、カニュレーションなどがまず関門として立ちはだかる。EUS ではラジアルとコンベックスでも異なるが、どのような断面像をみているのか、スコープをどう動かせば何がみえてくるかなどの 3 次元的な構造の理解が難しい。困難点の克服方法、その際の有効な指導法を初学者と指導者が共有することにより、より良い胆膵内視鏡指導のあり方を検討したい。

ビデオワークショップ

「実診療で役立つ画像強調内視鏡」

司会 東京慈恵会医科大学 内視鏡科 炭山 和毅
国立がん研究センター東病院 消化管内視鏡科 池松 弘朗

NBI や BLI/LCI、i-scan 等の画像強調法は、拡大内視鏡との併用による腫瘍・非腫瘍の鑑別診断や深達度診断における有用性が証明され、普及に至った。ボタン一つで白色光観察から切り替えることが可能な簡便性から、咽喉頭・食道領域のスクリーニングなど非拡大観察においても使用される機会は増している。特に近年は、技術的改良が進み、遠景からも明るい画像が得られるようになり、腫瘍の拾い上げ診断に加え、炎症性変化の評価などへの応用も期待されている。一方、画像強調法の機能や適応が多様化する中、適切な使用法を理解し、多忙な日常診療の中、期待される効果が得られるよう効率的に観察を行うことは必ずしも容易ではない。今回のビデオワークショップでは、対象臓器・疾病を限らず、ご施設での観察手順や工夫、新たな応用法、さらには教育方法などについて、実際の手技の動画を交えご報告いただき、実臨床における効率的な画像強調内視鏡の活用方法を模索したい。

ビデオワークショップ

「確実な止血法の工夫」

司会 帝京大学ちば総合医療センター 第3内科 道田 知樹
国立がん研究センター中央病院 内視鏡科 小田 一郎

消化管出血は日常臨床で遭遇する疾患であり、その診断や治療において消化器内視鏡は大きな役割を担っている。消化性潰瘍や食道・胃静脈瘤は減少傾向であるものの、非ステロイド性消炎鎮痛薬や抗血栓薬の服用者増加の影響などにより、高齢者の消化管出血は増加しており、消化器内視鏡の役割は、今なお重要である。

潰瘍性病変、食道・胃静脈瘤、大腸憩室、血管性病変、腫瘍性病変、医原性（EMR/ESD）など、原疾患により、消化管出血の最適な診断・治療法は異なる。また、標準的な手法がある程度確立しているものから、発展途上のものまで、疾患により種々である。本ビデオワークショップでは消化管出血全般を対象とし、各施設で実施している確実な止血法に関して、標準的手技のコツ、新たな手技の工夫、止血困難例などの演題を広く募集する。様々な施設からの多くの演題の応募を期待している。

ビデオワークショップ

「安全な異物回収の工夫」

司会 帝京大学医学部 内科学講座 喜多 宏人
がん研究会有明病院 消化器センター 外科 比企 直樹

日常診療で消化管異物の患者にしばしば遭遇する。一般に、内視鏡的異物除去と比較して、外科手術による異物除去は侵襲が大きいため、消化管異物症例に遭遇した場合、内視鏡的異物除去できないかどうか、可能な限り検討することが多い。一方、内視鏡的異物除去を行う際に治療の安全性を保つことは、これまた重要なポイントである。本ワークショップは、各施設での実際の経験や、安全に異物を内視鏡的に回収できた工夫、あるいはどうしても内視鏡的に回収できなかった経緯、異物回収の際に発生したトラブルなどを発表いただきたい。セッションの性格上、一例報告や、静止画のみ報告であっても歓迎する。

パネルディスカッション

「小腸疾患に対する効率的アプローチ」

司会 慶應義塾大学医学部 内視鏡センター

緒方 晴彦

自治医科大学 内科学講座 消化器内科学部門 矢野 智則

小腸疾患に対する検査は、カプセル内視鏡、バルーン内視鏡に限らず様々な選択肢があり、画像診断機器の性能も上がってきている。小腸疾患の診断過程では、既に得られている情報を元に頻度も考慮して鑑別診断を挙げたうえで、各モダリティの長所と短所を考慮しながら診断戦略を組んでいく。カプセル内視鏡では前処置、バルーン内視鏡では挿入ルート、CT/MRI では造影・前処置・撮影プロトコル等によって、得られる情報が異なってくる。小腸疾患の治療においても、外科的治療、薬物治療、IVR、内視鏡治療という選択肢があり、内視鏡治療の中でもスコープやフード、処置具の選択や、挿入ルートなど、様々な選択肢がある。しかし、いずれも完全に確立されたものではなく、各施設のマンパワーや設備状況によっても診断・治療戦略は異なってくる。本セッションでは小腸疾患の診断・治療における各施設の工夫を紹介していただき、効率的アプローチについて検討したい。

パネルディスカッション

「内視鏡診療におけるリスクマネジメント・周術期管理」

司会 東京医科大学 消化器内視鏡学分野

河合 隆

東京大学医学部附属病院 光学医療診療部 藤城 光弘

内視鏡診療は、経鼻内視鏡などのスクリーニング目的の診断内視鏡から、ERCP 関連手技、ESD などの高度な治療内視鏡まで幅広い。また、内視鏡医 1 名の無床診療所や検診施設、さらには総合病院、大学病院と、様々な環境下で行われている。内視鏡診療の多様化、超高齢社会の到来により、従来にも増して、それぞれの状況に応じた、適切なリスクマネジメント・周術期管理が求められている。内視鏡前（抗血栓薬をはじめとした内服薬の服薬指導、患者誤認防止対策、など）、内視鏡中（鎮静方法、患者監視体制、偶発症軽減のための取り組み、など）、内視鏡後（鎮静後の退室基準、ポリープ切除後の患者教育、など）の取り組みに加え、医師・メディカルスタッフとの情報共有方法、内視鏡機器の洗浄・消毒、保守点検、など、様々な各施設独自の取り組みが行われているはずである。本主題では、安全で確実な内視鏡診療を実現するために行われているリスクマネジメント・周術期管理に対する各施設の工夫を広く募集する。多くの演題の応募を期待している。

パネルディスカッション

「EUS を用いた膵胆道疾患の診断と治療」

司会 東京医科大学 消化器内科

糸井 隆夫

東邦大学医療センター大森病院 消化器内科 岡野 直樹

CT や MRI などの非侵襲的な画像検査の進歩はめざましく、現在では多くの膵胆道疾患においてルーティンの検査となっている。一方、EUS 診断は被験者の解剖学的要素や術者の技量に依存することが短所であるものの、膵胆道疾患においては存在診断や質的診断も含め未だ精密画像検査としての役割は大きい。特に超音波造影剤を用いた造影 EUS は、ファンダメンタルイメージに vascularity を加えることによる質的診断の向上が期待されている。さらに EUS は組織診・細胞診を目的とした EUS-FNA の普及により、単なる画像診断から最終病理診断までを担うモダリティとしてその存在意義を広げている。また最近では EUS-FNA サンプルを用いた分子生物学的研究も世界中で行われており、今後のテーラーメイド医療につながる可能性がある。近年、EUS はこうした診断のみならず膵周囲液体貯留ドレナージや胆道ドレナージなどの治療的 EUS としても新しい発展を遂げている。治療的 EUS は従来の ERCP による治療困難例も克服できる可能を秘めており、膵胆道疾患における今後の発展が期待されている。本セッションではこうした EUS を用いた膵胆道疾患の診断と治療の進歩についてディスカッションをしたい。多くの応募を期待する。

特別講演

岩手医科大学医学部 内科学講座消化器内科消化管分野 松本 主之

症例検討セッション ※アンサーパッド形式

「小腸」

司会 埼玉医科大学病院 消化管内科 今枝 博之
獨協医科大学 消化器内科 富永 圭一

小腸内視鏡（バルーン内視鏡・カプセル内視鏡）の進歩と共に、小腸疾患を診療する機会も増え、その診断・治療は大きく進歩した。一方で、機器の普及は十分でなくバルーン内視鏡、カプセル内視鏡の双方を導入している施設は限られており十分な経験を積む機会は限られている。本セッションでは、小腸の炎症・腫瘍を有する興味深い症例を提示して頂き、アンサーパッドを用いて擬似的な経験をすることで、読影・診断能力を習熟し参加者全員のレベルアップに繋がたいと考えている。

「胆膵」

司会 東京大学医学部附属病院 消化器内科 木暮 宏史
自治医科大学 内科学講座 消化器内科学部門 牛尾 純

胆膵疾患はバラエティに富み、その診断には詳細な病歴聴取や血液検査データの評価とともに、US, CT, MRI, EUS などの画像検査、EUS-FNA や ERCP 関連手技といった種々の modality を駆使する必要があるが、しばしば診断や治療選択に難渋する。また実際に治療に進んだところで困難に直面することも多い。

本セッションでは、診断や治療選択に苦慮した症例、治療に難渋した症例などを提示していただき、コメンテーターの先生方や会場の先生方と一緒に明日からの臨床に役立つような有意義な検討をしたい。

若手からベテランまで多くの先生方のご参加を期待する。

「上部消化管」

司会 埼玉県立がんセンター 消化器内科 内視鏡科 有馬美和子
日本大学医学部 内科学系 消化器肝臓内科学分野 後藤田卓志

上部消化管粘膜の観察において、存在診断から質的診断、量的診断の流れは基本中の基本である。まずは通常観察で異常所見を見つける（本質的には探す、であるが）ことが重要である。その上で、拡大観察なども駆使して質的診断や量的診断を行う。近年では、画像強調内視鏡の普及に伴い病変の深達度、組織型診断に迫る情報が得られるようになりつつある。一方、拡大観察を含めた詳細な診断は、専門家のみの議論になりがちなのも実情であり、初学者や内視鏡専門以外の医師にも通じるような診断学の普及も急務である。また、中途半端な知識は間違った診断に迫り着くこともある。

本セッションでは、食道病変、胃病変を1例ずつ取り上げる。質的診断から量的診断についてアンサーパッド形式を取り入れ、若手からベテランの先生まで広くご参加いただき活発な討論をお願いしたい。なお、各呈示症例の後にミニレクチャーを予定している。

「下部消化管」

司会 国立がん研究センター中央病院 内視鏡科 斎藤 豊
自治医科大学 内科学講座 消化器内科学部門 林 芳和

本セッションでは、ハイボリュームセンターならではの大腸腫瘍症例について、皆様と議論しこれからの診療の参考になることをねらっております。

大腸腫瘍症例においては興味深い内視鏡所見を呈した症例を中心に、通常内視鏡および拡大内視鏡所見を呈示し、内視鏡所見と病理組織所見との対比を元に解説を行います。具体的には、大腸腫瘍3題の症例呈示を行い、これらの症例についてアンサーパッドを使用して診断や治療方針の決定などについて参加者の先生方と一緒に議論していきたいと考えております。症例経験豊富なコメンテーターの先生方、病理の先生による症例解説も予定しております。

併せて当日は大腸腫瘍の診断・治療について、大腸ESDの豊富な症例経験数を持つエキスパート内視鏡医によるミニレクチャーも予定しております。若い先生方をはじめ、多くの先生方のご参加をお待ちしております。

ハンズオントレーニングセッション

「胆膵 EUS-FNA」

「ESD」

「DBC Double balloon colonoscopy」

演題募集期間：2018 年 6 月 6 日（水）～2018 年 8 月 29 日（水）正午
オンライン（UMIN）による申込みのみにて募集いたします。

詳しい演題募集要項は関東支部例会ホームページ
（<http://www.jges-k.umin.jp/>）をご参照ください。

※郵送、E-mail による演題の受付はいたしません。

注 意 事 項：抄録作成に際しては「消化器内視鏡用語集」を参照し、適切な用語を用いてください。（適切な用語を用いることは発表者の責務になります。）

事 務 局：自治医科大学 内科学講座 消化器内科学部門
事務局長 砂田 圭二郎
〒329-0498 栃木県下野市薬師寺 3311-1

演題登録に関してのご質問・お問い合わせ先：

第 107 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会 運営事務局
株式会社プランニングウィル内
〒113-0033 東京都文京区本郷 4-1-5 石渡ビル 6F
Tel: 03-6801-8084 Fax: 03-6801-8094
E-mail: 107kanto-jges@pw-co.jp

第 36 回 日本消化器内視鏡学会 関東セミナーのご案内

(主催：関東支部)

第 36 回日本消化器内視鏡学会関東セミナーを下記の要領で開催いたします。

支部セミナーの受講は専門医の申請および更新に際して、必須となっておりますのでご留意下さい。

会 長：露口 利夫 (千葉大学大学院医学研究院 消化器内科学)

会 期：2018 年 7 月 16 日 (月・祝)

会 場：東京ビッグサイト 1F レセプションホール

〒135-0063 東京都江東区有明 3-11-1 TEL：03-5530-1111 (代)

定 員：770 名 (一部はサテライト会場となります)

※サテライト会場について

- ・講演データ (パワーポイント) の投影と音声のみの中継となります。
- ・質問受付なし

対 象 者：日本消化器内視鏡学会専門医、希望する会員・その他

受 講 料：日本消化器内視鏡学会会員 10,000 円 非会員 15,000 円

受講料の払い込み方法は、仮登録の自動返信メールにてご連絡申し上げます。

受講料振込をもって登録完了とさせていただきます。

原則、お振り込み頂いた受講料は返金できません。受講セミナーを他支部より変更されて受講される場合も、受講料の振替はできませんのでご注意ください。

応募要領：定員となりましたので、受講受付を締め切りました。

たくさんのご応募をいただきありがとうございました。

【応募受付に関する問い合わせ先】

日本消化器内視鏡学会 関東セミナー受付係

株式会社コンベンションアカデミア内

担当：丹沢、鵜田 (ときた)

〒113-0033 東京都文京区本郷 3-35-3 本郷 UC ビル 4 階

TEL：03-5844-6700 FAX：03-3815-2028

E-mail：kanto-seminar@coac.co.jp

【セミナーに関する問い合わせ先】

第 36 回日本消化器内視鏡学会関東セミナー運営事務局

〒113-0033 東京都文京区本郷 4-1-5 石渡ビル 6F

株式会社プランニングウィル内

担当：西田 智久

Tel：03-6801-8084 Fax：03-6801-8094

E-mail：36kanto_seminar@pw-co.jp

第 36 回日本消化器内視鏡学会関東セミナー プログラム（敬称略）

時間	演題名	講師氏名・所属	司会者氏名・所属
8:55	開会挨拶	露口 利夫 (千葉大学大学院医学研究院 消化器内科学)	
9:00	咽喉・食道扁平上皮癌の内視鏡診断と治療	堅田 親利 (北里大学医学部 消化器内科学)	熊谷 一秀 (あそか病院)
9:40	Barrett 食道内視鏡診療の現況と問題点	天野 祐二 (新東京病院 内視鏡センター)	門馬 久美子 (がん感染症センター都立駒込病院 内視鏡科)
10:20	休 憩		
10:30	対策型内視鏡胃がん検診	鈴木 拓人 (千葉がんセンター 内視鏡科)	藤崎 順子 (がん研有明病院 消化器内科)
11:10	胃がんの内視鏡診断から ESD まで	布袋屋 修 (虎の門病院 消化器内科)	河合 隆 (東京医科大学 消化器内視鏡学分野)
11:50	感謝状贈呈		
11:55	休 憩		
12:00	ランチョンセミナー ①胃内視鏡的粘膜下層剥離術後の薬物療法 ②逆流性食道炎における最新のエビデンス	①丸岡 大介 (千葉大学医学部附属病院 消化器内科) ②松村 倫明 (千葉大学医学部附属病院 消化器内科)	田尻 久雄 (日本消化器内視鏡学会 理事長、 東京慈恵会医科大学 先進内視鏡治療研究講座)
12:50	休 憩		
13:00	大腸がんスクリーニング・サーベイランス内視鏡 (Cold Polypectomy 含む)	松田 尚久 (国立がん研究センター中央病院 検診センター / 内視鏡科)	藤城 光弘 (東京大学医学部附属病院 光学医療診療部)
13:40	大腸 拡大内視鏡診断から治療まで	森 悠一 (昭和大学横浜市北部病院 消化器センター)	斎藤 豊 (国立がん研究センター中央病院 内視鏡センター、内視鏡科)
14:20	休 憩		
14:30	炎症性腸疾患の内視鏡診断	緒方 晴彦 (慶應義塾大学病院 内視鏡センター)	鈴木 康夫 (東邦大学医療センター佐倉病院 IBDセンター)
15:10	胆道疾患の診断と治療 EST/EPLBD/経口胆道鏡	杉山 晴俊 (千葉大学医学部附属病院 内視鏡センター)	五十嵐 良典 (東邦大学医療センター大森病院 消化器内科)
15:50	休 憩		
16:00	膵臓疾患 EUS 診断から治療まで	安田 一朗 (帝京大学医学部附属葛西病院 消化器内科)	山口 武人 (千葉がんセンター)
16:40	JED プロジェクト	田中 聖人 (京都第二赤十字病院 消化器科)	木田 光広 (北里大学医学部 消化器内科学)
17:10	閉会挨拶	露口 利夫 (千葉大学大学院医学研究院 消化器内科学)	

【プログラム委員】（敬称略，50 音順）

有馬美和子、五十嵐良典、河合 隆、木田光広、鈴木康夫、藤崎順子、藤城光弘、松田尚久、山口武人

第 37 回 日本消化器内視鏡学会 関東セミナーのご案内

(主催：関東支部)

第 37 回日本消化器内視鏡学会関東セミナーを下記の要領で開催いたします。

支部セミナーの受講は専門医の申請および更新に際して、必須となっておりますのでご留意下さい。

多数の方のご参加をお待ちしております。

会 長：有馬 美和子 (埼玉県立がんセンター 消化器内科／内視鏡科)

会 期：2019 年 1 月 20 日 (日)

会 場：ソニックシティ

〒330-8669 埼玉県さいたま市大宮区桜木町 1-7-5

TEL：048-647-4111

定 員：1,000 名 (予定)

対 象 者：日本消化器内視鏡学会専門医、希望する会員・その他

受 講 料：日本消化器内視鏡学会会員 10,000 円 非会員 15,000 円

受講料の払い込み方法は、仮登録の自動返信メールにてご連絡申し上げます。

受講料振込をもって登録完了とさせていただきます。

原則、お振り込み頂いた受講料は返金できません。受講セミナーを他支部より変更されて受講される場合も、受講料の振替はできませんのでご注意下さい。

応募要領：応募受付は、平成 30 年 8 月 23 日(木曜日) 正午 より開始いたします。

先着順に受講者を決定いたします。

受講希望者は日本消化器内視鏡学会ホームページの Web 登録フォームよりお申し込み下さい。 詳細は日本消化器内視鏡学会ホームページでご確認下さい。

【応募先・受講に関するお問い合わせ先】

日本消化器内視鏡学会 関東セミナー受付係

株式会社コンベンションアカデミア内

〒113-0033 東京都文京区本郷 3-35-3 本郷 UC ビル 4 階

TEL：03-5844-6700 FAX：03-3815-2028

E-mail：kanto-seminar@coac.co.jp

【セミナーに関する問い合わせ先】

第 37 回日本消化器内視鏡学会関東セミナー運営事務局

(株)サンプラネット メディカルコンベンション事業部

担当：高橋、宮川

〒112-0012 東京都文京区大塚 3-5-10 住友成泉小石川ビル 6 階

TEL：03-5940-2614 FAX：03-3942-6396

E-mail：jgesk37@sunpla-mcv.com

JED ブースに関するお知らせ

第 106 回 関東支部例会にご参加の皆様

平素は日本消化器内視鏡学会ならびに関東支部の活動にご協力を賜り誠にありがとうございます。

先般施行させていただきました JED に関する調査におきまして、個別の説明のご要望を多くいただきました。

その声にお応えする形で、すべての支部例会、総会において JED 相談ブースを設置することになりました。

6 月 16 . 17 日に開催されます関東支部例会におきましても、学会参加受付のちかくに JED 相談ブースを設置させていただきます。JED 導入に関する、ご心配、疑問などについて、ご対応できればと存じます。つきましては、是非お立ち寄りください。

JED プロジェクト委員長
田中 聖人



<http://www.jges.net/jedproject>

☆なお、本支部例会は、二日にわたり開催されますが、全国の支部例会を回る都合上 JED ブース設置は 6 月 16 日は終日、17 日は 13 時とさせていただきます。

日本消化器内視鏡学会関東支部機関誌 『Progress of Digestive Endoscopy』について

ご購読のお願い

Progress of Digestive Endoscopy は日本消化器内視鏡学会関東支部の機関誌であり、関東支部例会予報集および論文集を年2冊ずつ発行しております。会則等の関係から関東支部全会員にご購読頂くことが実現できず、現在は有志の方にご購読頂いております。

論文集は関東支部例会の研修医、専修医、一般演題の発表を中心に論文が収載され、消化器内視鏡を志す若手の登竜門となっております。

関東支部の各分野を代表する編集委員、査読委員が査読を行い、さらなる質の向上に取り組んでおりますので、ご購読下さるようお願い申し上げます。

本誌は J-STAGE に登録されており、全国の先生方が掲載論文を閲覧できます（雑誌発行後1年間の本文閲覧は Progress of Digestive Endoscopy 購読会員に限られます）。

なお、本誌購読は関東支部評議員の選出条件の1つになっています。

お申し込みは関東支部のホームページ(<http://www.jges-k.umin.jp/>)をご参照下さい。

関東支部以外の会員も購読可能ですので、多くの方のお申し込みをお待ちしております。

【購読申込に関する問い合わせ先】

日本消化器内視鏡学会関東支部 庶務係 西野

〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1 国立がん研究センター中央病院 内視鏡科

TEL 03-3542-2511（内線 2018） FAX 03-3542-3815

Email : jgeskanto@nifty.com

論文投稿について

Progress of Digestive Endoscopy は投稿論文を随時受け付けております（論文の採否は編集委員会にて決定致します。）。

投稿はオンライン投稿となります。投稿に先立ち、必要書類を関東支部ホームページの「Progress of Digestive Endoscopy」の「投稿規定」のページよりダウンロードしてお使い下さい。投稿は Progress of Digestive Endoscopy 購読会員に限られますのでご留意下さい。

なお、日本消化器内視鏡学会専門医・指導医の申請・更新の実績ポイントとして本誌は筆頭で5点、共著で2点が取得できます。

【論文投稿に関する問い合わせ先】

株式会社 協和企画 メディカルコミュニケーション本部『Progress of Digestive Endoscopy』係

〒105-8320 東京都港区虎ノ門 1-10-5

TEL 03-6838-9221

Email: pde@kk-kyowa.co.jp